

THE HEKIKAI SHINKIN BANK

2024

へきしんディスクロージャー

ごあいさつ

平素より「へきしん」をお引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。

本年度も、私ども「へきしん」についてご理解を一層深めていただきますよう、「へきしんディスクロージャー2024」を作成いたしました。是非、ご一読くださいますようお願い申し上げます。

2023年度のわが国の経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが「5類」に移行したことを受けて、社会経済活動の正常化が進展した一年でありました。人流の回復や30年ぶりとなる高水準の賃上げなどデフレ脱却に向けた前向きな動きがみられる一方で、原材料価格や人手不足による人件費の高騰などの影響により、多くの中小企業においては景気回復の実感が乏しい状況が続いております。

こうした経済環境の下、個々のお客さまに寄り添ったきめ細やかな活動を通じ、資金繰り支援や本業支援、DX・GX支援に全役職員一丸となって積極的に取り組んでまいりました。

2024年3月にはマイナス金利政策の解除が決定され、「金利のある世界」へと金融環境が大きく変化する中、CASEを軸とした自動車産業の100年に一度といわれる大変革期への対応やサプライチェーン全体での脱炭素化への対応、人生100年時代の暮らしのサポートなど、地域経済・社会やお客さまの課題は多様化しております。

こうした課題に対し、一緒に向き合い、期待を超える価値をご提供することが地域金融機関としての使命であると考え、本年度より、創立80周年を迎える2030年度に向けた新長期ビジョン「ビジョン2030」を策定し、第11次中期経営計画(3カ年)をスタートいたしました。お客さま、地域社会、職員やその家族等からオンリーワンの存在として慕われ、愛され、そして地域に「笑顔」を生み出す金庫経営「すまいるプロデュース Only One Bank ～笑顔あふれる地域をめざして、私たちは走り続けます～」をビジョンに掲げ、活力ある地域社会の持続的発展に貢献してまいります。

引き続き、格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年7月



会長 山内 正幸



理事長 深谷 誠

会長 **山内 正幸**

理事長 **深谷 誠**



当金庫の概要 (2024年3月31日現在)

創	業	1950年(昭和25年)10月25日
総	資	産 2兆5,161億円
預	金	2兆2,973億円
貸	出	金 1兆1,961億円
出	資	金 12億8百万円
自	己	資 本 比 率 15.35% (単体)
店	舗	数 78店舗 (うち出張所1カ所、インターネット支店1店舗)
駐	在	員 事 務 所 1カ所 (バンコク)
店	舗	外ATMコーナー 52カ所 (共同ATMコーナー含む)
役	職	員 数 1,214人
本	店	所 在 地 安城市御幸本町15番1号

基 本 方 針

中小企業並びに国民大衆の地域金融機関として
地域経済振興のため貢献する。

J C R 格 付

A+

2024年1月取得

へきしんは、
(株)日本格付研究所(JCR)より、
長期発行体格付として、
19年連続で「A+」の評価を得ています。

※へきしんの「格付事由」については、JCRホームページ
(<https://www.jcr.co.jp>)をご覧ください。

※JCR格付は取得後1年ごとに見直しが行われます。

※本誌は、信用金庫法第89条に基づいて作成したディスクロージャー資料です。

※本資料に掲載している計数は、特に表示のない限り、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

Contents

ごあいさつ	1
当金庫の概要	2
ビジョン2030	3

へきしんのサステナビリティ

持続可能な地域社会の実現に向けて	5
地域経済活性化への取り組み	11
自己成長できる働きやすい職場環境	15
顧客保護等管理態勢	17
リスク管理態勢	18
コンプライアンス（法令等遵守）態勢	19

へきしんの経営状況

業績ハイライト	21
貸借対照表・損益計算書	24
開かれた総代会を目指して	25

へきしんの概要

業務内容	27
主な手数料	29
役員員等の状況・組織図	30
店舗ネットワーク	31
碧海信用金庫の沿革	34

別冊のご案内

財務状況等のより詳細な情報については、
別冊を作成しています。別冊は、当金庫
ホームページに掲載しています。

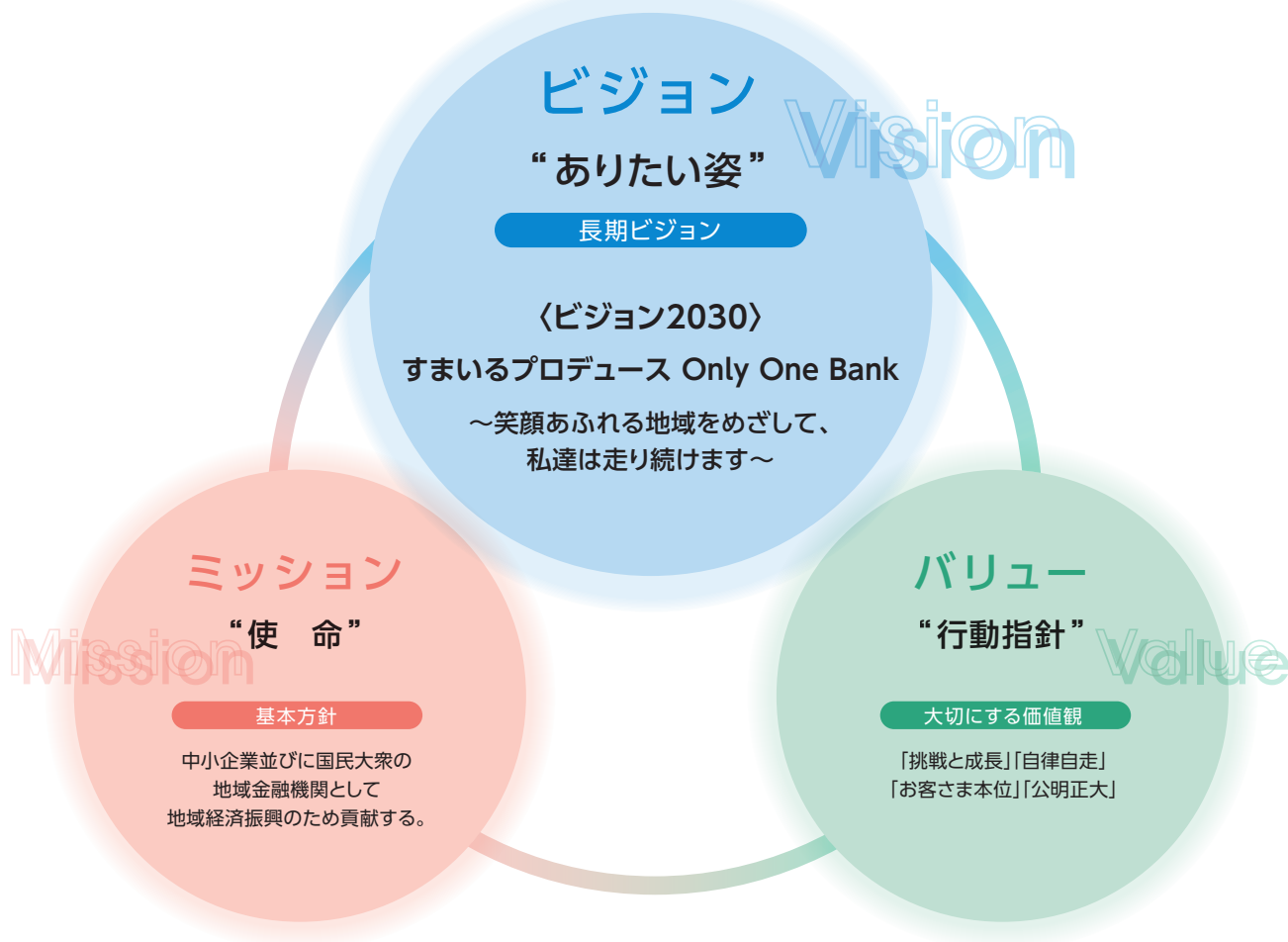
<https://www.hekishin.jp/about/disclosure/nenkan.php>



ビジョン2030

2030年度に創立80周年を迎えるにあたり、長期的に目指すべきありたい姿として、新長期ビジョン「ビジョン2030」を策定しました。

全役職員で共有する金庫のミッション・ビジョン・バリュー



第11次中期経営計画（2024年4月1日～2027年3月31日）

■ビジョン2030を実現するための土台づくりの3年間として第11次中期経営計画を策定しました。

戦略1	戦略2	戦略3
永遠のファンを増やす ～地域支援力の更なる強化～	笑顔の組織をつくる ～お客さま、職員満足度向上に向けた 庫内環境づくり～	金庫の価値を高める ～持続的成長を実現する基盤の構築～
コンプライアンス・リスク管理態勢の更なる強化		
横断的な取り組み DX・GXへの取り組み		

2024年4月7日より新テレビコマーシャル放映開始

当金庫の新長期ビジョンをコンセプトに、地域やお客さまを笑顔にするため職員一人ひとりが生き生きと働く姿を表現しています。

CMはこちらからご覧いただけます



▶ 主要計数目標

第10次中期経営計画の最終年度(2023年度)の実績と、第11次中期経営計画の初年度(2024年度)の目標は次の通りです。

指標	項目	2023年度目標	2023年度実績	2024年度目標
規模	預金残高(期中平均残高)	23,000億円	22,840億円	23,200億円
	貸出金残高(期中平均残高)	11,750億円	11,810億円	12,000億円
収益性	お客さま向けサービス業務粗利益(※)	12,000百万円	12,053百万円	12,000百万円
	コア業務純益(投資信託解約損益を除く)	5,700百万円	5,935百万円	5,000百万円
生産性	コアOHR (投資信託解約損益、減価償却費、預金保険料を除く)	66.00%以下	64.64%	68.80%以下

※お客さま向けサービス業務粗利益＝貸出金利息－預金利息×預貸率＋役務取引等利益

▶ 第10次中期経営計画最終年度(2023年度)のご報告

●損益の状況

2023年度は、経常利益51億円、当期純利益37億円となりました。

(単位：百万円)

	2022年度	2023年度	増 減
業務粗利益	16,003	18,922	2,918
資金利益	17,384	17,856	471
役務取引等利益	1,832	1,550	△282
その他業務利益	△3,213	△484	2,729
(うち国債等債券関係損益)	△3,451	△727	2,724
経費	14,872	14,640	△231
人件費	9,766	9,564	△201
物件費	4,621	4,573	△47
一般貸倒引当金繰入額	—	△195	△195
業務純益(※1)	1,131	4,476	3,345
コア業務純益(※2)	4,583	5,009	425
臨時損益	2,198	705	△1,493
不良債権処理損益	24	△529	△553
株式等関係損益	1,941	1,037	△903
経常利益	3,329	5,182	1,852
特別損益	△24	△23	1
当期純利益	2,557	3,735	1,177

※1 業務純益とは、金庫の基本的業務に係る利益です。

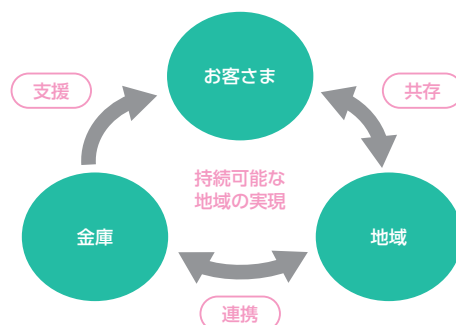
※2 コア業務純益とは、業務純益から、一時的な変動要因(国債等債券関係損益等)を除いた、より実質的な収益力を表す利益です。

持続可能な地域社会の実現に向けて

▶ へきしんのGX

気候変動対応はお客さまや地域および当金庫に影響を及ぼす経営の重要課題であると認識しております。当金庫は2022年4月にTCFD^(注)に賛同を表明し、地域のお客さまに向け、TCFDで提言されている「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の枠組みに沿って、気候変動に対する情報開示に努めてまいります。

当金庫が率先してGXに取り組むことで、お客さま・地域と一体となって、持続可能な地域の実現を目指します



ガバナンス

- 経営企画部内に「ESG推進グループ」を設置し、サステナビリティ課題に対する取り組みを強化しております。
- 金庫内の取組内容や進捗状況は役員会等で審議・報告を行うことにより、実効性を高める態勢としております。
- 気候変動への対応を組織横断的に協議するための態勢を整備してまいります。

戦略

1. カーボンニュートラルに対する取り組み

当地域の主要産業である自動車業界では特に、カーボンニュートラル(以下、CN)や電動化への対応が求められており、以下の項目が今後の事業活動に大きく影響する課題であると認識しております。

CNへの対応	CO ₂ の排出規制などの政策や規制強化によって、受注条件が厳しくなるなど、お客さまの事業がネガティブな影響を受ける可能性
電動化への対応	電気自動車の普及によって自動車の構成部品が変化し、お客さまの受注が影響を受ける可能性

そこで当金庫では、お客さまのCNへの移行をご支援する金融商品・ソリューションなどを提供しております。今後も、お客さまとのコミュニケーションを通じ、課題の解決に向けた取り組みを進めてまいります。

●お客さまのCN対応をご支援

CN対応に関するお客さまの課題について、「知る」「測る」「減らす」のステップに沿って、提携先の紹介による課題解決のご支援を推進しております。

〈紹介可能なサービスの例〉

CO ₂ 排出量算定・目標設定	CO ₂ 排出量削減計画支援	太陽光発電の導入	SBT認定取得支援	CO ₂ フリー電力の導入
----------------------------	---------------------------	----------	-----------	--------------------------

●地域社会との連携

地域の自治体等とも連携し、課題解決に対する取り組みを展開することにより、持続可能な地域社会の実現に貢献いたします。



トピックス

あいち脱炭素経営支援プラットフォームへの参画

環境省「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」並びに愛知県「あいち脱炭素経営支援プラットフォーム」に参画し、地域のお客さまへの省エネ診断支援や脱炭素に関する資格取得支援を行いました。

●令和5年度省エネルギー設備投資に係る利子補給金制度・「地域脱炭素融資促進利子補給事業」制度の取り扱い

本制度は、省エネルギー設備投資等の融資利息の一部が補給されるもので、令和4年度に続き、当金庫が指定金融機関として採択されました。

2. 炭素関連資産の状況

当地域はものづくりが盛んであり、製造業者が多い地域です。そのため、炭素関連資産のうち「素材・建築物」の割合が大きい傾向があります。お客さまのCNへの対応をご支援することで、気候変動への対応と更なる地域の活性化の両立を目指してまいります。

炭素関連資産とは、一般的に温室効果ガスの排出量が比較的高いとされる業種に対する当金庫の与信残高のことです。

(当金庫の与信残高全体に占める炭素関連資産の割合)

2024年3月末時点

セクター	エネルギー	運輸	素材・建築物	農業・食料・林産物
割合	0.4%	7.8%	24.1%	1.6%

「エネルギー」石油・ガス、石炭、電力／「運輸」空運、海運、陸運、自動車

「素材・建築物」金属・鉱業、化学、建材、資本財、不動産管理・開発／「農業・食料・林産物」飲料・食品、農業、製紙・林業

※TCFDでは炭素関連資産のセクターをGICS（世界産業分類基準）によって4つのセクターに分類することを推奨しています。当金庫の与信残高に占める炭素関連資産の割合においては、GICSをベースに当金庫の業種分類と対応させ算出しています。

リスク管理

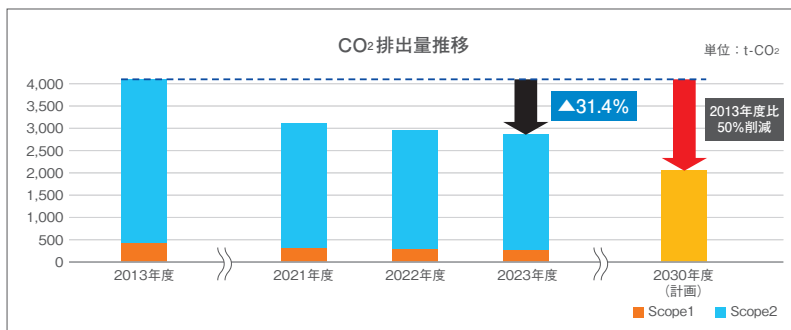
- 気候変動リスクが当金庫の事業・財務に大きな影響を及ぼす可能性があることを認識しております。
- 環境や社会に影響を与える投融資について留意してまいります。
- 気候変動リスクは既存の各種リスクを増幅させるという点を考慮し、統合的リスク管理の枠組みにおける管理態勢の構築を検討してまいります。

指標と目標

●CO₂排出量削減目標

2050年カーボンニュートラル達成に向け、
2030年度までにCO₂排出量(Scope1、Scope2)を2013年度比**50%**削減します

※Scope1：ガス、ガソリン等の燃焼による当金庫の直接排出 Scope2：電気等の使用による間接排出



CO₂排出量においては、2023年度には2013年度比31.4%削減することができました。

〈削減に向けた取り組み〉

- ☒ 継続的な省エネ活動
- ☒ CO₂フリー電力の活用(2022年度より本店・本部ビルに導入済み)
- ☒ 店舗のLED化等

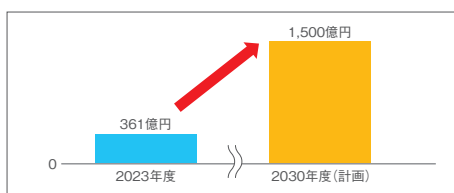
※本部・事務センターにおけるガソリンの使用によるCO₂排出量は2021年度より含めています。

●金庫をあげた省エネ運動「へきしんカーボンニュートラルチャレンジ2030」を実施

CO₂排出量削減目標達成に向け、「電気」「ガス」「ガソリン」使用量の前年度比1%削減及び各部・各店が個別活動目標を設定し、全職員一人ひとりが日常業務における省エネ行動をすることで、CO₂排出量の削減に取り組んでおります。

●サステナブルファイナンスの目標と実績

2030年度までのサステナブルファイナンス実行目標は1,500億円といたします



	累計実行額(2024年3月末実績)
サステナブルファイナンス	36,173百万円
うち環境分野	17,024百万円

※サステナブルファイナンスとは…持続可能な社会を実現するための資金供給のこと。SDGsやESG関連の取り組みを支援する投融資を含みます。

(注) TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosuresの略)

主要国の中央銀行・金融監督局等が参加する国際組織「金融安定理事会」によって設立。気候変動による財務上の影響を分析・開示することを推奨しています。



持続可能な地域社会の実現に向けて

▶ DX 戦略

「DX認定事業者」の認定取得

経済産業省が定めるDX認定制度において、2023年8月に当金庫は「DX認定事業者」として認定されました。



DX戦略の進捗状況

2023年3月に策定したDX戦略の進捗状況を図るモノサシ(KPI)として設定した4項目の取組状況は以下のとおりです。

【DX戦略1.0】

DX-Vision

新しいFace to Faceを実現し、より身近な信用金庫へ

～サービスや業務へのデジタルの活用と、組織のDXリテラシーの底上げを通じて、非対面・対面サービスの相乗効果を発揮する～

戦略Ⅰ

お客さまファーストな
サービス展開

戦略Ⅱ

業務効率化・生産性
向上

戦略Ⅲ

人材育成

【KPI】

①デジタルユーザー数

- ・へきしんアプリDL数
171千DL
- ・スマート管理Biz利用先数
589先
- ・デジタル化支援相談先数
201先

②お客さまとの コミュニケーション量

- ・有効面談数／人
43.6件
- ・ホームページPV数／月
1,559千PV
- ・アプリ取引量／月
238千件
- ・メルマガ開封数／件
25千件

③3レス推進による 事務削減時間

- ・3レス、BOC化等による
営業店事務処理削減時間
16,415時間
- ・RPA等を活用した
本部事務の処理削減時間
2,436時間

④デジタル人材数

- ・IT系資格取得および
所定の通信教育の受講を
満たした職員数
12名

DX戦略において掲げたDXビジョン「新しいFace to Faceを実現し、より身近な信用金庫へ」を実現し、地域社会のDXの促進に向けて引き続き取り組んでまいります。



主な取り組み事例

戦略Ⅰ お客さまファーストなサービス展開

「チャットで相談#あおいちゃん」のサービス開始

2023年11月にお客さまからのお問い合わせに自動で回答するサービス「チャットボット」をホームページ、へきしんアプリ、LINE公式アカウントに設置しました。利便性を提供するとともに、本サービスより得られたデータから、さらなるサービスの向上を図ってまいります。

「チャットで相談#あおいちゃん」
はこちらから



アプリ積金の取扱い開始

2023年12月にへきしんアプリ上で手続きが完結する定期積金の取り扱いを開始しました。デジタルサービスの提供を通じて、お客さまとの接点の拡大を図るなど利便性の向上に努めてまいります。



スマホ体験教室の開催

スマートフォンを使い始めた方やもっと活用したい方を対象にソフトバンクと共同で「スマホ体験教室」を開催しました。引き続き、地域のデジタル化の促進を図ってまいります。



戦略Ⅱ 業務効率化・生産性向上

CRMシステムの導入

2023年8月に、営業店・本部で利用するCRMシステムを導入しました。従来は共有することが難しかった営業活動情報を集約し、営業店・本部間で共有することが可能となりました。営業効率の向上を図るとともに、タイムリーで質の高い課題解決型の提案活動を展開してまいります。

戦略Ⅲ 人材育成

本部トレーニングの実施

デジタル人材の育成を目的に、営業店職員等を対象に本部トレーニングを実施し、金庫全体のデジタルリテラシーの向上に取り組んでいます。引き続き、DXの促進に向け、デジタル人材の育成に注力してまいります。

デジタル戦略部
内藤 結花



持続可能な地域社会の実現に向けて

▶ 地域の皆さまとともに

／ 公益財団法人碧海育英会にて奨学生を決定

当金庫の15周年記念事業の一環として1966年に設立された育英財団では、2024年度の奨学金支給対象者20名を決定しました。奨学生の総数はのべ1,000人を超え、多くの卒業生が社会の第一線で活躍しています。



／ 地域の未来を担う子どもたちを応援

当金庫では、学校等に出向いて金融教育やキャリア教育、SDGs等に関する出張授業を実施しています。また、職場体験や職場訪問の受け入れ等も行っています。地域の未来を担う人材の育成を支援することで、地域の発展に貢献してまいります。



愛知県立安城高等学校



高浜市が開催する「たかはま夢・未来塾」

／ SDGs寄贈型私募債「パートナーブリッジ」の寄贈品を贈呈

2019年4月より寄贈型私募債の取り扱いを開始し、2023年度は18件を受託しました。私募債を発行するお客さまから受け取る手数料の一部で寄贈品を購入し、お客さまが指定された当金庫営業地区内の教育機関や医療機関、公共的な活動を行う法人や団体等に贈呈しています。



愛知県立岡崎工科高等学校



安城市立三河安城小学校

／ 安城七夕まつりに参加

例年8月に開催される「安城七夕まつり」のステージでダンスを披露しました。また、本店営業部では浴衣での接客や、七夕飾りの飾りつけも行いました。今後も地域の行事を盛り上げる活動を継続してまいります。



／ 「SDGsフェスタinあんじょう」を共催

2024年3月10日に安城市と共催でSDGsの普及・啓発を図るイベントを開催しました。基調講演や高校生による発表会の他、SDGsに取り組む企業がブース出展し、ご家族やご友人と一緒に多くの方々にご来場いただきました。



／ 特殊詐欺等の被害防止への取り組み

お客さまの大切な預金をお守りするため、近年増加している特殊詐欺の被害防止に積極的に取り組んでいます。地域の皆さまが安心・安全に暮らせる社会を目指して、今後もさまざまな取り組みを実施してまいります。



幸田支店

▶ お客さまの多様なニーズへの対応

／ 地域のスポーツ振興と地域のデジタル化の推進

地域のスポーツ振興に向けた取り組みとして、当金庫はシーホース三河を応援しています。へきしんアプリの地域クーポンから割引観戦チケットをご案内したり、試合会場ではブースを出展し、へきしんアプリをダウンロードしていただいたお客さまに応援グッズの配布などを行いました。



／ 年金友の会でセミナー開催

近年、相続や終活への関心が高まってきていることを受け、2023年8月17日に相続や終活にまつわる諸問題を落語風に楽しく解説するセミナーを開催しました。また、年金友の会では、セミナーの他、観劇会や日帰りバス旅行を実施しております。



／ 金庫職員向けの「手話講座・筆談講座」を実施

2021年に改正された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」への対応の一環として、手話の基本、筆談のポイントを習得するための講座を金庫職員向けに実施しました。



／ 「へきしんゴールナビ」のNISA対応開始

2024年1月から新しいNISA制度が始まり、ファンドラップ(投資一任サービス)「へきしんゴールナビ」においても利用できるようになりました。今後もお客さまの資産運用のニーズに応えるサービス・商品の充実を図ってまいります。



／ スマホ決済サービス「Bank Pay」、**「ことら送金」**の取扱開始

新たな決済サービスとして、2023年9月1日より日本電子決済推進機構が提供するスマホ決済サービス「Bank Pay」、および株式会社ことらが提供する少額の個人間送金サービス「ことら送金」の取り扱いを開始しました。

／ 家族信託セミナー開催

万が一、認知症などで判断能力が失われたとしても、資産が凍結されることなく、任された家族が引き続き財産の管理を行うことができる家族信託について、各地の商工会議所・商工会と共催でセミナーを開催しました。

／ 信用金庫で県内初、一般社団法人M&A仲介協会に入会

信頼できるM&A仲介をお客さまに提供するために、中小M&Aガイドラインを含む取引ルールの徹底やM&A支援人材の育成等を掲げる一般社団法人M&A仲介協会に入会しました。信用金庫の当協会への入会は愛知県で初となります。

／ 刈谷南支店・小垣江支店を新築オープン

2024年5月7日に刈谷南支店と小垣江支店を店舗内店舗方式(*)で新築オープンしました。あらゆるお客さまにも環境にもやさしい店舗となっております。

※店舗内店舗とは、一つの店舗内に複数の店舗が同居し、営業を行う方式です。



地域経済活性化への取り組み

▶ 中小企業の経営改善のための取り組み

当金庫は、地域の中小企業や個人のお客さまへの安定した資金供給にとどまらず、長期的な取引関係を通じて蓄積された情報や地域の外部専門家等とのネットワークを活用してコンサルティング機能を発揮することにより、お客さまの課題解決、事業拡大および経営改善等に向けて最大限支援してまいります。

中小企業の多様なニーズにお応えする
さまざまな支援メニューを取り揃えております。



事業者支援の
詳細はこちら▼



専門の担当者が事業承継に関する ご提案をいたします。

自社株評価額の把握にご活用いただける簡易株価算定や、自社株や不動産の移転に伴う資金調達のご相談を承っております。また、ご提案内容によっては、外部専門家と連携し解決策をご提示いたします。

国内外の専門家と連携を図り、 海外事業展開の支援や各種情報提供を 行っております。

海外への進出や海外との貿易取引など海外事業展開を図っている事業者に対し、ジェトロや信金中央金庫をはじめとした関係機関と連携を図り、積極的に対応しております。

各種補助金や助成金の情報提供や 申請のサポートをいたします。

県・市町村の支援機関、外部専門家等との連携を図りながら補助金・公的支援施策の情報提供や各種補助金の申請のお手伝いを行っております。

※補助金の採択結果(可否)について、当金庫は採択を保証するものではありません。

衰退期

- 創業支援
- 販路開拓支援
- 中小企業施策活用支援
- デジタル化支援
- 人材採用支援
- カーボンニュートラル支援
- 海外展開支援
- 事業承継・M&A支援
- 経営改善・再生支援

成熟期

▶ 金融仲介機能のベンチマークに関する開示

当金庫では、金融仲介の質を一層高めることを目的に、2016年9月に金融庁が策定した「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、地域経済の発展に貢献できるよう取り組んでおります。詳細につきましては、当金庫ホームページで公表しています。



スタートアップ・ベンチャー企業を応援しております。

2024年10月に国内最大のインキュベーション施設「STATION Ai」が名古屋市鶴舞公園南側に開業予定です。

愛知県が策定している「Aichi-Startup戦略」の一環であり、当金庫は愛知県が主導して立ち上げた「Aichi-Startup推進ネットワーク会議」の会員です。

また、インキュベーション施設「なごのキャンパス」の法人プログラム会員（入居事業者に対し、支援する立場の会員）にも加入しております。

多様なビジネスマッチングの機会のご提供を行っております。

販路拡大等の課題を有する事業者支援として、商談会の開催に加え、金融機関の枠を越えた全国規模のビジネスマッチングが可能なデジタルプラットフォーム「へきしんBig Advance」や、信用金庫の取引先事業者を対象としたビジネスマッチングサイト「しんきんコネクト」等をご案内しております。

創業期

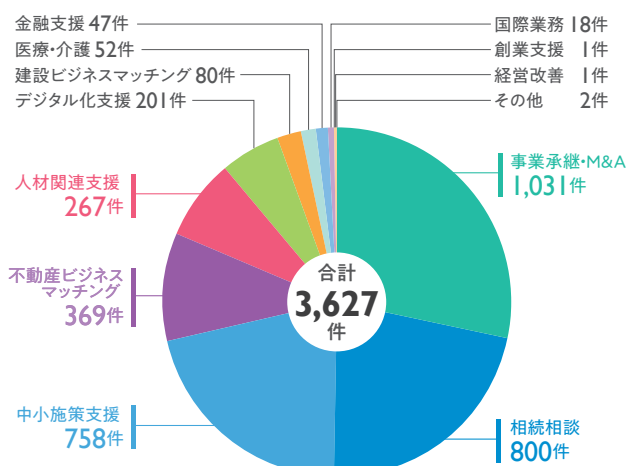
成長期

3カ月ごとに発行している「Hekikai Report」では、地域の企業のご紹介や景気動向の他、お役に立つコラムなどさまざまな情報を発信しております。

Hekikai Reportはこちらからご覧いただけます▼



▶ 主な経営支援の相談件数 (2023年度)



地域経済活性化への取り組み

▶ 地域の経済発展を支援

／ スタートアップ企業支援

2023年5月30日に当金庫と三菱UFJ銀行、名古屋銀行の3行庫が共同で実施する初のイベント「中部まるごとスタートアップまつり」を開催しました。会場参加とWeb参加のハイブリット形式にて行い、幅広い企業が参加しました。今後もスタートアップ企業の支援に力を入れてまいります。



／ 碧青会(へきせいかい)活動

碧青会は、次世代を担う経営者の会員組織で、現在10地区にて組織され、700名を超える会員ネットワークとなっています。会員同士の交流を深める場を設けたり、経営に役立つセミナーなどを開催しています。



第22回(令和5年度)合同碧青会 (2024年3月15日)

／ カーボンニュートラルへの取り組みを支援

近年、カーボンニュートラルへの取り組みは企業経営に欠かせない課題となっており、当金庫ではお客さまが抱えるカーボンニュートラル対応に関する課題解決に向けた支援を強化しております。



自動車関連企業さま向け
カーボンニュートラルセミナー
(2023年8月24日)

／ 第5回へきしん金シャチねっとワーク 「人が集まり定着する組織づくり」セミナーを開催

多くの企業で課題となっている「従業員の定着と活躍」をテーマにしたセミナーを2024年2月16日に開催しました。実際に効果的な取り組みをされている中小企業の担当者の方に成功事例などをお話いただき、多数のお客さまにご参加いただきました。



／ 各種商談会・相談会を開催

中小企業・小規模事業者の販路拡大や新商品開発などのコラボレーションのための商談会や、事業におけるその他の課題解決に向けた相談会を開催しています。今後もお客さまの課題解決支援に力を入れてまいります。



名古屋商工会議所との連携による「パートナー発掘商談会」
(2023年9月13日・14日)



へきしんキャッシュレス化大相談会2024
(2024年2月28日)

地域密着型金融推進計画の取組状況(2023年4月～2024年3月)

当金庫では、「地域密着型金融推進計画」を策定し、金庫全体で積極的に取り組んでいます。

1. 本業(企業価値向上)支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

項目	具体的取組策	主な取組実績(2023年4月～2024年3月末)
創業・新規事業 開拓支援	○多様な支援チャネルによるスタートアップへの相談 対応強化	・ワンストップ創業支援窓口における創業・第二創業相談を183件実施 ・三菱UFJ銀行、名古屋銀行と「中部まるごとスタートアップまつり」を共催
成長段階における 更なる飛躍支援	○企業の事業拡大に向けた課題解決支援強化	・名古屋商工会議所との連携による「パートナー発掘商談会」を開催 ・人材紹介業務において60件成約、うち当金庫独自でマッチングを行う両手型の人材紹介サービスを 6件成約 ・補助金申請支援サービスにて補助金の申請支援を21件実施
	○海外事業展開のサポート体制強化	・海外事業展開にかかる相談対応を18件実施 ・タイ進出企業5社に対し資金調達支援を実施
経営改善支援	○コロナ出口戦略、原材料・燃料高騰対応などに おける資金繰り支援等の強化	・政府系金融機関との連携による資本性ローンを活用し、資本強化と資金繰り安定化を同時に図る など、実効性のある支援を実施 ・アレンジャーおよびエージェンツ引き受けによるシンジケート団を結成し、財務体質強化や先を見据え た資金繰り支援を実施
	○実効性のある経営改善支援	・計画承認先に対し、決算到来時に計画進捗状況をモニタリングし要因分析を実施
事業再生や 業種転換等の支援	○外部専門家との連携による多様な事業再生支援	・中小企業活性化協議会や官民ファンドなどの専門機関と適宜情報交換を実施し、連携を強化 ・第二会社方式、事業譲渡、不動産リストラなどの抜本策による事業再生サポートを実施
事業承継支援	○事業承継、M&Aに関する相談対応強化	・事業承継にかかる面談を431件(うち新規182件)実施 ・M&Aにかかる面談を698件(うち新規163件)実施

2. 地域の面的再生への積極的な参画

項目	具体的取組策	主な取組実績(2023年4月～2024年3月末)
地域の取り組みへの 積極的な参画	○地域と連携したSDGs推進等による地域支援	・カーボンニュートラル支援にかかる事業者相談を276件受付 ・安城市との連携による「SDGsフェスタinあんじょう」を共催 ・SDGs等に関する学校への出前授業を年6回実施
	○地域の地公体・関係諸団体等との連携強化	・安城ビジネスコンシェルジュへ職員を1名派遣し、34先の相談を受付 ・「安城七夕まつり」と「デンパーク」の経済効果分析を実施

3. お客さま、地域の皆さまへの積極的な情報発信

項目	具体的取組策	主な取組実績(2023年4月～2024年3月末)
地域密着型金融の 取り組みに関する 積極的な情報発信	○ホームページ、ディスクロージャー誌、 Hekikai Report等の活用	・「へきしんSDGsレポート」を4月、7月、10月、1月の計4回発行 ・ディスクロージャー誌において、中小企業の経営改善への取り組み、地域経済活性化への取り組み などを積極的に紹介
お客さま、地域への 多様な情報提供	○お客さま、地域に役立つ多様な情報提供の実施	・「へきしんキャッシュレス化大相談会」を開催 ・お客さま向け「スマホ体験教室」を10会場で開催 ・DXセミナーをオンラインを中心に開催(10タイトル)

▶「経営者保証に関するガイドライン」への対応

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」(以下、「ガイドライン」という。)の趣旨や内容を踏まえ、同ガイドラインを融資慣行として浸透・定着させていくために、以下のとおり取り組みます。

経営者保証に関する取組方針

- お客さまが融資等資金調達のお申込みをした場合、当金庫では、お客さまのガイドラインの要件の充足や経営状況等を総合的に判断する中で、経営者保証を求めない可能性や経営者保証の機能を代替する融資手法(一定の金利の上乗せ等)を活用する可能性について、お客さまの意向を踏まえたくて検討いたします。
- 上記の検討を行った結果、経営者保証を求めることがやむを得ないと判断し、経営者保証を提供いただく場合、当金庫はお客さまの理解と納得を得ることを目的に、保証契約の必要性等に関する丁寧かつ具体的な説明を行います。
- 経営者保証を提供いただく場合、お客さまの資産及び収入の状況、融資額、信用状況、情報開示の姿勢等を総合的に勘案して、適切な保証金額の設定に努めます。
- お客さまから既存の保証の変更・解除等の申入れがあった場合は、ガイドラインに即して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額等について真摯かつ柔軟に検討を行うとともに、その検討結果について丁寧かつ具体的な説明を行います。
- 事業承継時には、原則として前経営者、後継者の双方から二重で経営者保証は求めないこととし、例外的に二重に保証を求めることが必要な場合には、丁寧かつ具体的な説明を行います。
また、後継者に当然に保証を引き継いでいただくのではなく、その必要性を改めて検討いたします。
- お客さまからガイドラインに基づく保証債務整理の申し出を受けた場合には、ガイドラインに即して誠実に対応いたします。

以上

「経営者保証ガイドライン」への取組状況

(2023年4月1日制定)

	2023年度
新規に無保証で融資した件数(法人のみ)	1,666件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合(法人のみ)	28.2%
保証契約を解除した件数	321件

※「保証債務整理」については当金庫をメイン金融機関として成立に至った経営者保証に関するガイドラインに基づく申し出はありませんでした。

自己成長できる働きやすい職場環境

▶ 人材育成制度とキャリアパス



人財戦略部
人財戦略グループ
係長 海津 美和

令和6年4月に経営管理部から人財戦略部へ部署名が変更となりました。

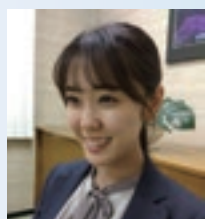
私たちは職員一人ひとりが笑顔で成長し、成長を実感できる環境づくりを目指しています。また、安心して働くことができるように、仕事と家庭の両立を支援する、さまざまな取り組みを実施しています。

人材育成制度

長期的に成長できる職場環境です。自分自身の成長が「やりがい」と「お客さまの喜び」につながります。

入庫1～3年目

- ビジネスマナー研修
- 金融基礎研修
- 保険、投資信託研修
- 営業基礎研修 等



永山 芽衣

入庫1年目は基礎知識を研修で学び、営業支援担当として窓口にご来店されるお客さまにサービスを提供します。

入庫2年目以降は営業担当としての活動をスタートします。先輩職員と2～3カ月間同行訪問の後、営業担当として独り立ちします。

入庫4～6年目

- 相続信託研修
- 融資(個人・法人)研修
- 決算書分析研修
- キャリアアップ研修 等



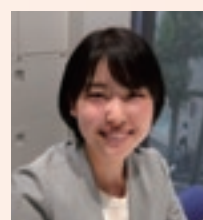
市川 大雅

営業担当としてさまざまな業務を任せられることが多くなり、より専門的な金融知識が必要になってきます。

お客さまのさまざまなニーズにお応えするため、法人営業研修や融資研修等で知識を身に付け、お客さまの課題解決のお手伝いをします。

入庫7年目～

- マネジメント力向上研修
- 事業承継、M&A研修
- 業種別知識向上研修
- 指導力向上研修 等



横地 亜季

役席者となり、自分自身のスキルアップはもちろん、部下職員の育成も行います。指導者向けの研修を受講し、一人ひとりがマネジメント力や指導力の向上を図り、へきしん全体のスキルアップを目指します。

STEP UP

STEP UP

ステップアップ制度を導入しました

今年度より、今までの一定の定期昇給に代わって、頑張り度が明確に報酬に反映されるステップアップ制度が導入されました。

年齢や勤続年数に関わらず、頑張れば頑張った分だけ評価・報酬を得ることができ、チャレンジや頑張り続けることにより、早いペースで昇給や昇進が可能になる職場環境になりました。

▶ 仕事と家庭の両立支援制度

当金庫はプライベートの時間を大切にすることが、仕事へのモチベーションに繋がると考えているため、**ワークライフバランス**を非常に大切にしております。職員、職員の家族が心身健康である金庫を目指し、さまざまな支援制度があります。

平均
年次有給休暇取得率

86.6 %

月平均
所定外労働時間

5.5 時間

育児休業
取得率

女性 96.9 %
男性 78.9 %

※2023年度数値

休暇制度の充実

- マタニティ休暇制度
- 育児休暇制度
- 介護休暇・休業制度
- 出生支援制度
- 時間単位有給休暇制度
- ファミリーフレンドリー休暇制度
- 配偶者出産時特別休暇制度
- 育児のための短時間勤務制度
- 介護のための短時間勤務制度
- 半日休暇制度
- 連続休暇制度
- 子の看護のための休暇制度

各種取得認定マーク



プラチナくるみん
プラス



ファミリー
フレンドリー企業



あいち女性輝き
カンパニー認証



えるぼし認定



名古屋市女性の
活躍推進企業認定

育兒休業取得者の声

男女問わず、育児休業を取得できる仕組みを整えてきました。女性職員のみならず、男性職員のほとんどが育児休業を取得し、安心して働き続けられる環境があります。



榎原 江利佳

育児短時間勤務制度を活用することで育児と仕事のメリハリもあり、充実した毎日を過ごしています。突然の子供の発熱などで早退することがあっても、職員の理解があり、働きやすい環境です。今後も育児と仕事の両立が可能なへきしんで、母親として、1人の職員として、様々なことに挑戦していきたいです！



野村 洋貴

初めての出産立ち合いと育児の日が近づくにつれて、妻と一緒に子育てをしたい気持ちが強くなりました。そんな自分の想いを汲んでいただき、支店職員の協力もあり、1ヵ月間の育児休業を取ることができました。わからないことが多く不安でしたが、夫婦で協力して子育てができ、とても充実した育児休業となりました。

顧客保護等管理態勢

▶ 顧客保護等へ向けた取り組み

当金庫は地域金融機関として、地元のお客さま、地域社会から信頼されるお客さま満足度の高い信用金庫を目指し、顧客保護、利用者利便の向上に役職員一丸となって取り組んでいます。

▶ 当金庫の顧客保護等管理態勢

当金庫は、顧客保護等管理について5本の柱を整備し、管理状況を常務会、理事会へ報告する態勢としています。

顧客説明管理態勢

「お客様の声改善委員会」を設置し、お取引や商品に関するお客さまへの説明と情報提供が適切かつ十分に行われるよう取り組んでいます。

顧客サポート等管理態勢

「お客様の声改善委員会」を設置し、お客さまからのお問い合わせ、ご相談、ご要望および苦情など、お客さまからのさまざまなご意見を業務の改善につなげています。

顧客情報管理態勢

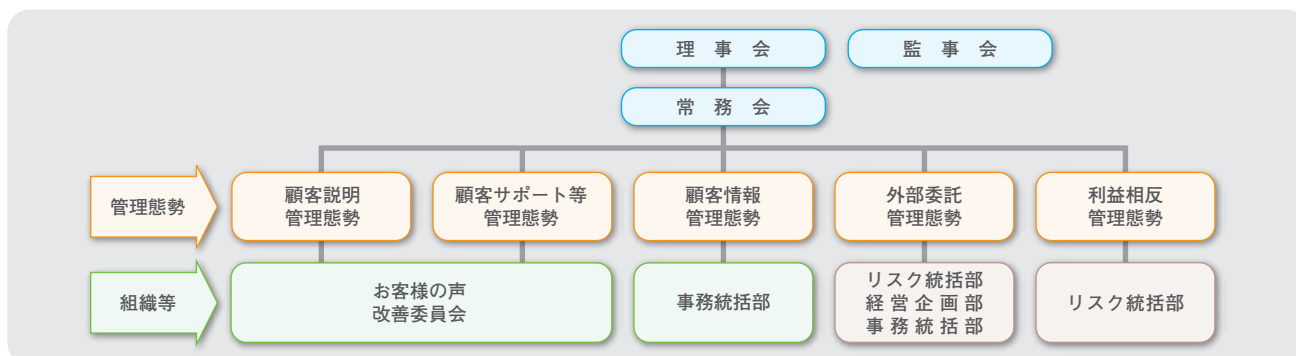
お客さま情報の適切な保護と利用を図るため、個人情報の保護に関する法律などの法令等を遵守するとともに、お客さま情報の機密性・正確性の確保に努めています。

外部委託管理態勢

当金庫の業務を外部委託した場合に、お客さま保護の観点から、その委託先の管理を適切に行うために「外部委託に係る規程」を制定し、外部委託先の管理、検証を行っています。

利益相反管理態勢

お客さまと当金庫との取引において、お客さまの利益が不当に害されることのないように適切に管理する態勢を整備し、お客さまの保護に努めています。



▶ 金融ADR制度への対応

苦情処理措置

当金庫は、お客さまからの苦情のお申し出に公正かつ確に対応するため業務運営体制・内部規則を整備し、その内容をホームページ等で公表しています。苦情は、当金庫営業日(9時～17時)に営業店(電話番号は31ページ参照)またはお客様相談グループ(電話:0120-834-587)にお申し出ください。証券業務に関する苦情は、当金庫が加入する日本証券業協会から苦情の解決業務等の委託を受けた公的な第三者機関である「特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センター(ADR FINMAC)」(電話:0120-64-5005)でも受け付けています。

紛争解決措置

当金庫は、紛争解決のため、当金庫営業日(9時～17時)に前記お客様相談グループまたは全国しんきん相談所(電話:03-3517-5825)にお申し出があれば、愛知県弁護士会(電話:052-203-1777、西三河支部0564-54-9449)、東京弁護士会(電話:03-3581-0031)、第一東京弁護士会(電話:03-3595-8588)、第二東京弁護士会(電話:03-3581-2249)の紛争解決センター等にお取次ぎいたします。また、お客さまから各弁護士会に直接お申し出いただくことも可能です。

なお、前記東京の弁護士会の場合は、お客さまのアクセスに便利な東京以外の弁護士会において調停を行うこともでき、例えば、テレビ会議システム等を用いて東京の弁護士会と共同で行う方法(現地調停)や、東京以外の弁護士会に案件を移す方法(移管調停)があります。ご利用いただける弁護士会については、前記東京の弁護士会、全国しんきん相談所または当金庫お客様相談グループにお尋ねください。

このほかに、証券業務に関する紛争は、当金庫が加入する日本証券業協会から紛争の解決のあっせん等の委託を受けた前記「特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センター(ADR FINMAC)」でも受け付けています。

リスク管理態勢

▶ リスク管理強化への取り組み

当金庫は、リスク管理を経営の最重要課題の一つと位置づけ、リスク管理態勢の整備、リスク管理の高度化へ向けて、取り組んでいます。

金融のグローバル化の進展や金融技術の革新などを背景に、金融機関を取り巻く状況は一段と多様化、複雑化しています。このような環境変化により、金融機関のリスク管理の重要性がより一層高まっています。

当金庫は、「さまざまなリスクを正しく把握し、金融情勢の変化に対応できるようリスクを適切に管理することにより、健全性の確保と収益性の向上を図る」ことを統合的リスク管理*1の基本的な考え方とし、リスク管理の強化・充実に取り組んでいます。

当金庫は、金融機関が抱える主要なリスクのうち、信用リスク、市場リスク、およびオペレーショナル・リスク*2の3つのリスクに対して資本配賦*3を行い、計測されたリスク量が資本の範囲内に収まっているかを確認することにより、自己資本の充実度を評価しています。

今後もリスク管理の高度化へ向けて、取り組んでいきます。

用語説明

*1 統合的リスク管理とは、当金庫の直面するリスクに関して、自己資本比率の算定に含まれないリスク（与信集中リスク、銀行勘定の金利リスクなど）も含めて、それぞれのリスク・カテゴリーごと（信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスクなど）に評価したリスクを総体的に捉え、当金庫の経営体力（自己資本）と比較・対照することによって、自己管理型のリスク管理を行うことをいいます。

*2 オペレーショナル・リスクとは、金融機関の業務の過程、役職員の活動若しくはシステムが不適切であることまたは外生的な事象により損失が発生しうる危険のことをいいます。

*3 資本配賦とは、自己資本を割り当てることをいいます。

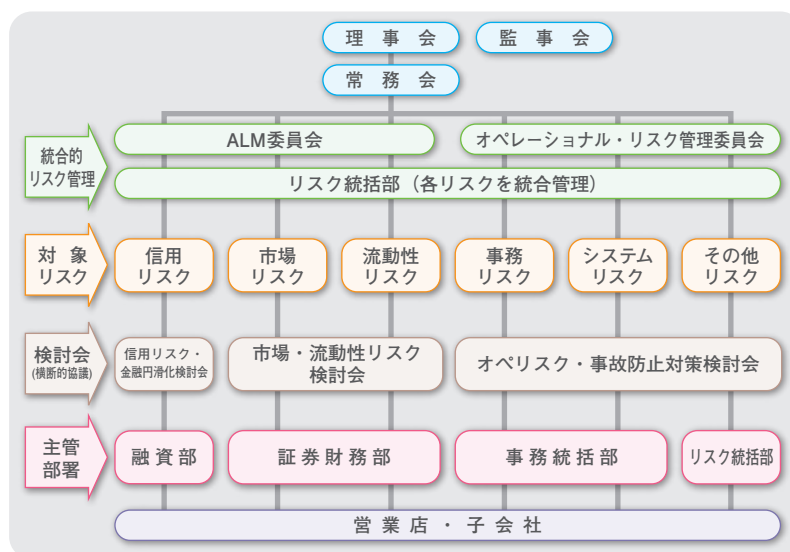
▶ リスク管理に係る組織体系図

当金庫は、リスクごとに担当部署を定め、業務内容やリスクの規模・特性に応じた適切なリスク管理を行うこととしています。

また、各種リスクを統合的に管理する機関として、「ALM委員会」、「オペレーショナル・リスク管理委員会」、およびリスク統括部を設置しています。

「ALM委員会」では信用リスク、市場リスク、流動性リスクの、「オペレーショナル・リスク管理委員会」ではオペレーショナル・リスクの各リスクの管理状況について定期的に協議しています。

なお、重要な事項については、リスク管理を担当する部署より、随時、理事会に報告しています。



▶ ALM*4体制

信用リスク、市場リスクおよび流動性リスクを統括して管理するとともに、資産・負債を総合的に管理するため、「ALM委員会」を設置し、多面的な分析・検討を行っています。

用語説明

*4 ALMとは、Asset Liability Managementの頭文字をとったもので、資産と負債を総合的に管理するバランスシートのリスク管理手法のことをいいます。

サイバーセキュリティへの取り組み

当金庫では、サイバー攻撃に対するリスク管理を経営上の重要課題の一つとして位置づけ、サイバー攻撃をうけた場合に迅速な対応を組織横断的にとることを目的として、金庫内にCSIRT (Computer Security Incident Response Team) を設置しています。

お客さまがより安全にサービスをご利用いただけるよう、今後もセキュリティ対策に取り組んでいきます。

コンプライアンス(法令等遵守)態勢

▶ コンプライアンスに対する取り組み

当金庫は、コンプライアンス(法令等遵守)を重視した企業風土を醸成することを経営の最重要課題の一つとし、コンプライアンスがすべての業務に優先するという考え方を全役職員が共有しています。

▶ 当金庫のコンプライアンス態勢

理事会

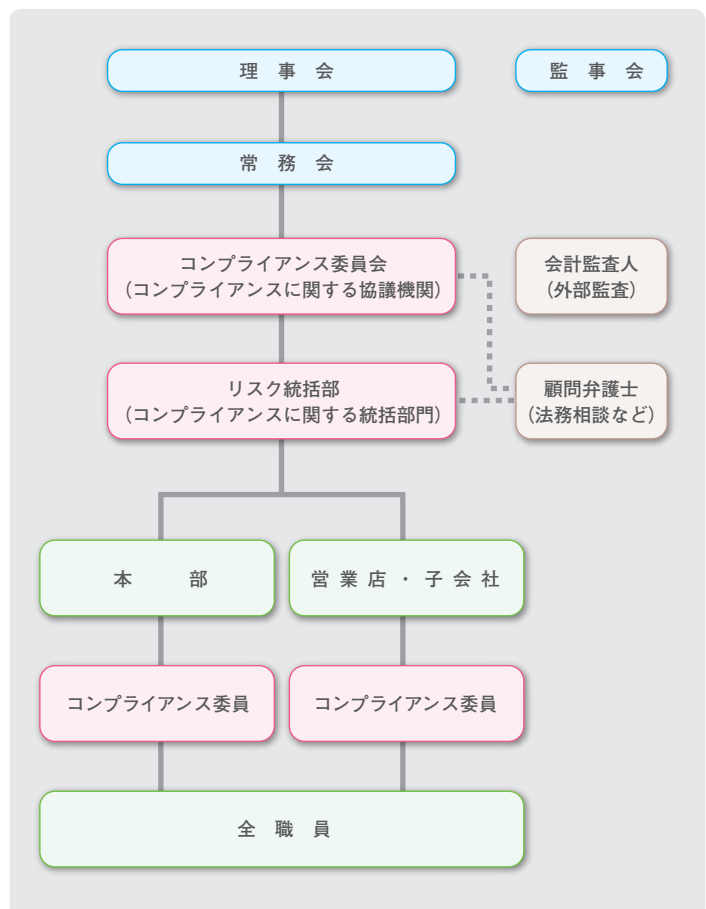
コンプライアンスに関する重要事項について、コンプライアンス委員会より報告を受け、必要な対応を指示するなど、態勢の強化を図っています。

コンプライアンス委員会

コンプライアンスへの取組方針、実施状況、問題点、課題を実質的に議論する重要な合議体として、またコンプライアンス方針の業務執行を担当する機関として「コンプライアンス委員会」を設置しています。

コンプライアンス委員

「コンプライアンス委員」は、各部店においてコンプライアンス違反が発生しないように管理する役割を担うほか、コンプライアンスに関する「報告・連絡・相談」などを行っています。



▶ 態勢強化への各種取り組み

コンプライアンス委員連絡会の開催

コンプライアンス態勢の一層の充実を図るために、コンプライアンスに関する統括部門と各部署のコンプライアンス委員との意見交換や事例研究などを行う「コンプライアンス委員連絡会」を開催しています。

外部の専門家によるコンプライアンス研修の実施

コンプライアンスに関する専門知識の習得を目的として、コンプライアンス委員等を対象に、外部の専門家による研修を実施しています。

内部通報等窓口の設置

コンプライアンスに関する問題点の早期発見と是正を図ることを目的に、当金庫の役職員等が利用可能な複数の「内部通報等窓口」を設置しています。

職員のコンプライアンスに関する知識と意識の醸成

全職員がコンプライアンスに関し、必要な知識を身に付けることができるよう、基本的な内容を記載した「こんぶら通信」を発信するとともに、主体的に取り組む意識を醸成することを目的に、各部店において「コンプライアンス職場会」を定期的開催しています。

▶ マネー・ローンダリング、テロ資金供与および拡散金融対策の対応

当金庫は、マネー・ローンダリング、テロ資金供与および拡散金融（以下、「マネロン等」といいます）対策を経営上の重要課題の一つとして位置づけ、「マネロン等対策に関する基本方針」を制定し、以下の通りの措置を講じ、組織をあげて適切な内部管理態勢を構築して業務を遂行してまいります。

1. 組織態勢

- ・理事会は、マネロン等対策の重要性を認識・理解し、その対策に主導的かつ積極的に取り組みます。
- ・マネロン等対策の責任者、統括部署を定めて、関係する全ての部署が組織横断的に対応してまいります。

2. リスクベース・アプローチに基づくマネロン等対策

- ・リスクベース・アプローチの考え方に基づき、自らが直面しているマネロン等に関するリスクを特定・評価し、リスクに見合った低減措置を講じるとともに、その有効性を定期的に検証し、必要に応じて見直しを行います。

3. お客さまへの対応

- ・関係法令等に基づき、適時適切な取引時確認の実施、お客さまの情報・取引内容の定期的な確認などにより、お客さまの属性に即した対応策を実施する態勢を整備します。
- ・反社会的勢力との取引は、断固とした姿勢で根絶するとともに、自ら定めた顧客管理が実施できないと判断したお客さまとの取引については、リスク低減措置を適切に講じます。

4. 疑わしい取引の届出

- ・お取引時の確認、営業店等からの報告、システムによるモニタリングなどにより、疑わしい取引を的確に検知・監視・分析する態勢を整備します。
- ・疑わしい取引に該当すると判断した場合は、適切に対処し、速やかに当局へ届出します。

5. 経済制裁および資産凍結の措置

- ・国内外の規制等に基づき、制裁対象者との取引関係の排除、資産凍結等の措置を適切に実施します。

6. 役職員の研修

- ・全役職員を対象に、それぞれの役割に応じた必要かつ適切な研修を継続的に実施し、組織全体としてマネロン等対策に係る理解を深め、役職員の専門性・適合性の維持・向上を図ります。

7. 遵守状況の検証

- ・マネロン等対策に関する遵守状況を適切に検証し、その検証結果を踏まえたうえで、継続的に庫内態勢の改善に努めます。

8. 関連会社と連携したマネロン等対策の強化

- ・関連会社と連携し、グループ全体でマネロン等対策の強化に取り組みます。

▶ 反社会的勢力への対応

当金庫では、2007年6月に政府が策定した「企業が反社会的勢力による被害を防止するための指針」に基づき、「反社会的勢力に対する基本方針」を制定し、2010年4月より、当座勘定規定や普通預金規定をはじめとする各種規定や信用金庫取引約定書等の融資取引の契約書に「暴力団排除条項」※を導入いたしました。

この取り組みを推進するにあたり、当金庫では新たな口座開設等のお申し込みや会員加入のお申し込みの際に反社会的勢力ではないことの「表明・確約」をお願いしております。

今後も政府指針などの趣旨を踏まえ、反社会的勢力との関係遮断に努めてまいりますので、お客さまにはお手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

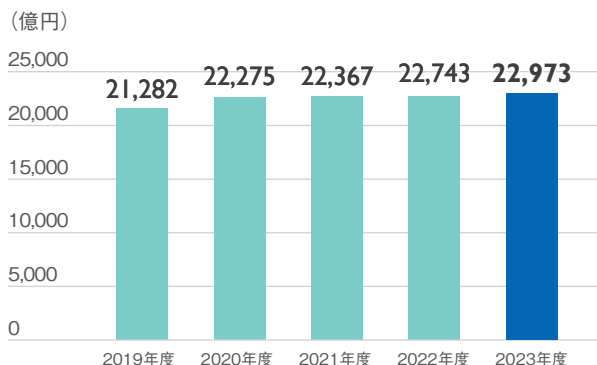
※「暴力団排除条項」とは、暴力団等の反社会的勢力との取引を拒絶すること、また、取引の開始後、反社会的勢力と判明した場合もしくは暴力的な要求行為等が行われた場合、当金庫の判断によりお取引を停止または解約させていただくことを定めた条項です。

業績ハイライト

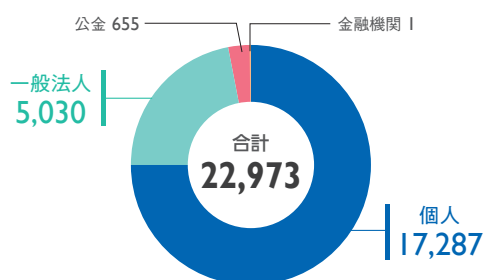
▶ 資産・負債の状況

預金積金

預金積金残高は普通預金などを中心に増加し、前期比230億円増加の2兆2,973億円（増加率1.01%）となりました。個人・法人のお客さまから広く預金積金をお預かりしています。

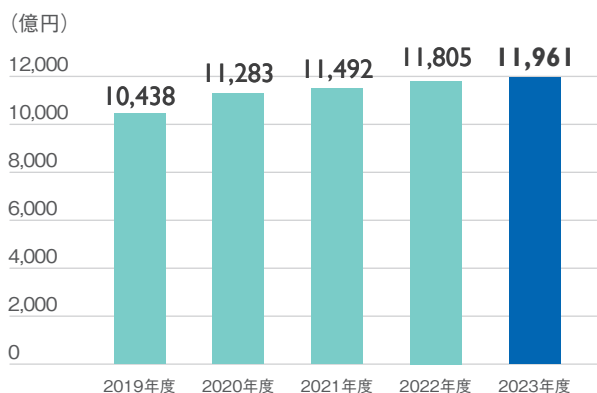


▶ 預金者別内訳 (2024年3月末、単位:億円)

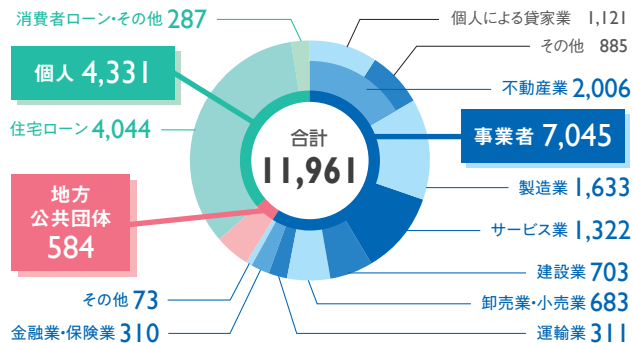


貸出金

貸出金残高は、住宅ローンなど個人向け貸出を中心に増加し、前期比156億円増加の1兆1,961億円（増加率1.32%）となりました。地域のさまざまな業種の皆さまの資金需要に積極的にお応えしています。

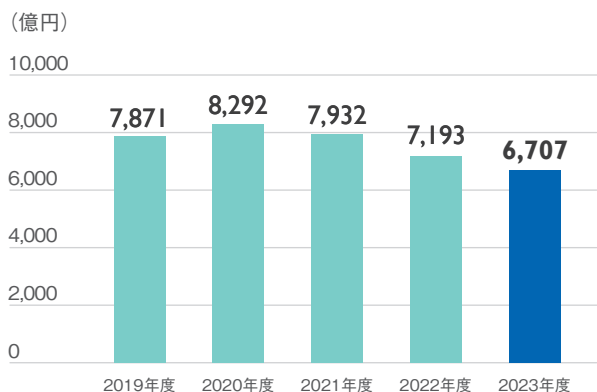


▶ 業種別貸出金残高 (2024年3月末、単位:億円)

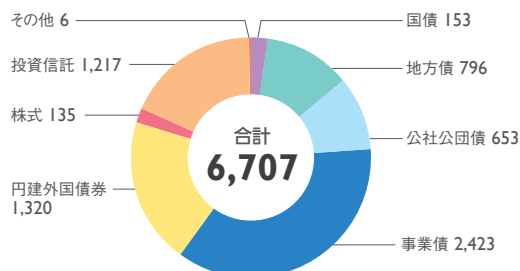


有価証券

国債、地方債、格付の高い社債や外国債券などの債券を中心に運用していますが、金利上昇に備え債券の購入を抑制したほか、国内外の金利上昇により評価損の発生した債券や投資信託の残高を削減した結果、有価証券の残高は、前期比485億円減少の6,707億円となりました。



▶ 有価証券の内訳 (2024年3月末、単位:億円)



▶ 損益の状況

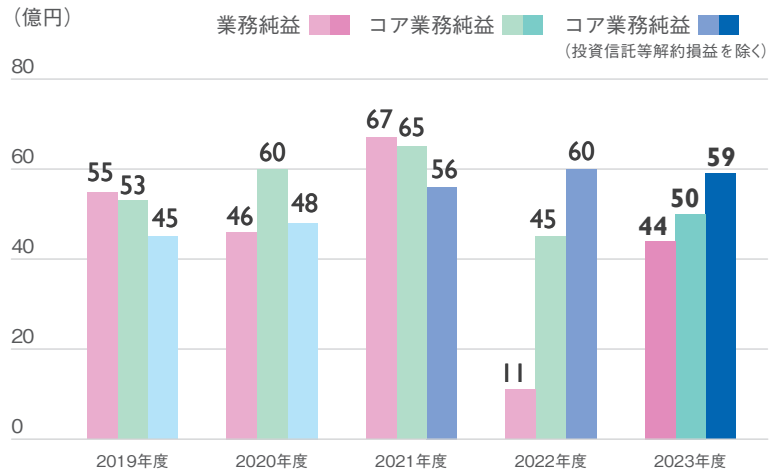
業務純益・コア業務純益

役務取引等利益の減少などにより、本業での収益力を表す指標であるコア業務純益（投資信託等解約損益を除く）は、前期比1億円減少の59億円となりました。

一方で、有価証券関係損益が大きく改善したことなどが影響し、業務純益は前期比33億円増加の44億円となりました。

参考

業務純益：融資など基本的業務に係る利益です。
コア業務純益：業務純益から、一時的な変動要因（一般貸倒引当金繰入額および国債等債券関係損益）を除いたものです。



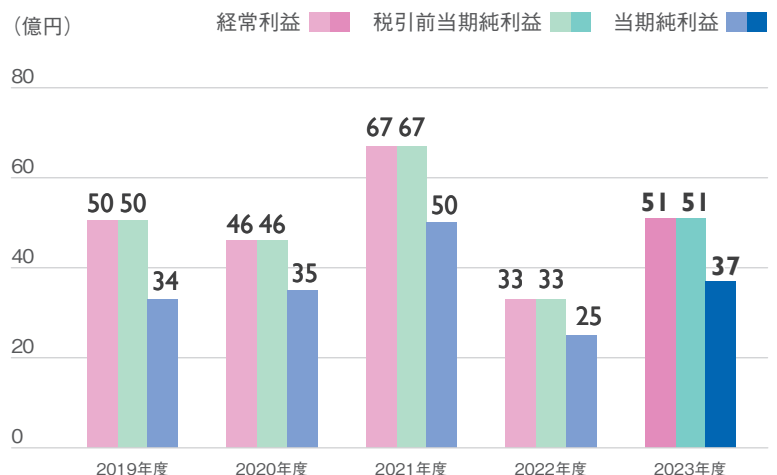
経常利益・当期純利益

業務純益の増加などにより、経常利益は前期比18億円増加の51億円、税引前当期純利益は前期比18億円増加の51億円、当期純利益は前期比11億円増加の37億円となりました。

最終利益である当期純利益の大部分が利益剰余金として積み立てられ、当金庫の自己資本の充実につながっています。

参考

経常利益：通常の営業活動からの利益です。経常的な収益力を見る上で重要な利益です。
当期純利益：経常利益に特別利益と特別損失を加減し、法人税などを控除した利益です。最終利益ともいいます。



業績ハイライト

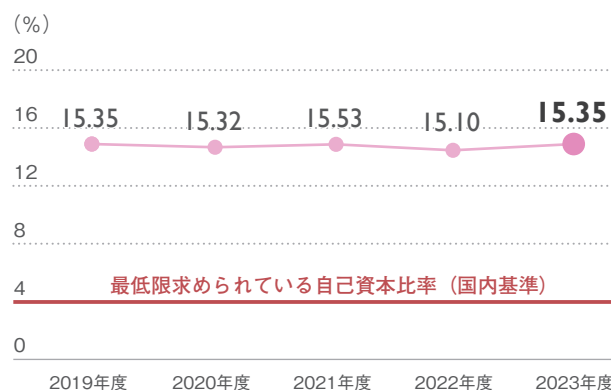
▶ 経営指標

自己資本比率

金融機関の安全性を表す代表的な指標である自己資本比率は、利益計上による自己資本の増加により、前期比0.25ポイント上昇の15.35%となりました。

毎期の利益剰余金の積上げや資産良化への取り組みにより、信用金庫に求められる国内基準4%を大幅に上回っています。

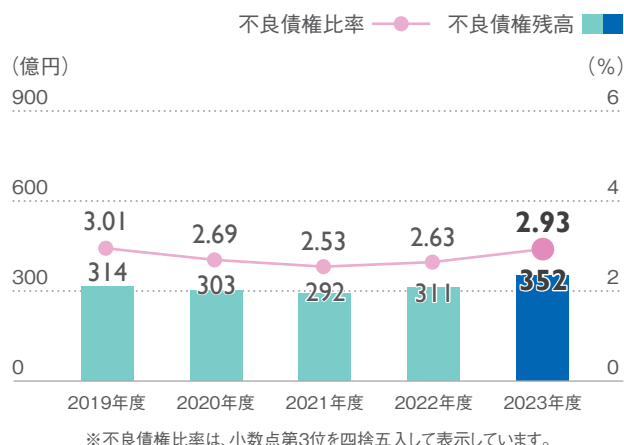
※自己資本比率＝自己資本額÷リスクアセット



不良債権

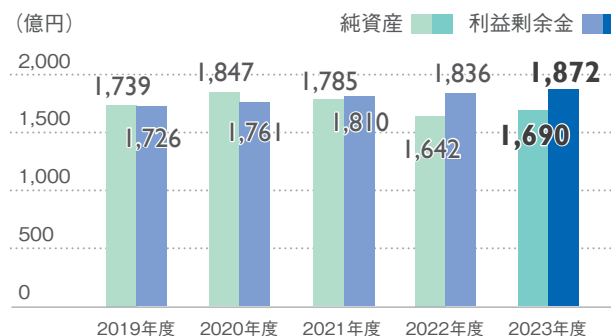
「事業再生・経営支援活動」を主体に、地域経済への影響を十分に考慮しつつ減少に努めましたが、金融再生法ベースの不良債権額は、前期比41億円増加の352億円、不良債権比率は前期比0.30ポイント上昇の2.93%となりました。

不良債権の90.7%が担保や保証、貸倒引当金でカバーされています。また、当金庫は潤沢な自己資本を備えており、不良債権が経営に与える影響は極めて小さいものとなっています。



純資産

過去からの利益の蓄積である利益剰余金は前期比36億円増加の1,872億円、純資産は前期比48億円増加の1,690億円となりました。



貸借対照表・損益計算書

第74期貸借対照表

(2024年3月31日現在)

科 目	金額 (百万円)
(資産の部)	
現金	14,558
預け金	569,638
買入金銭債権	9,085
金銭の信託	5,750
有価証券	670,792
国債	15,371
地方債	79,684
社債	307,685
株式	13,588
その他の証券	254,461
貸出金	1,196,170
割引手形	2,819
手形貸付	53,193
証書貸付	1,057,429
当座貸越	82,728
外国為替	627
外国他店預け	627
その他資産	19,046
未決済為替貸	1,107
信金中金出資金	11,236
前払費用	30
未収収益	2,020
金融派生商品	3
その他の資産	4,649
有形固定資産	22,266
建物	6,746
土地	13,943
建設仮勘定	485
その他の有形固定資産	1,091
無形固定資産	639
ソフトウェア	532
その他の無形固定資産	106
前払年金費用	5
繰延税金資産	8,326
債務保証見返	1,668
貸倒引当金	△2,381
(うち個別貸倒引当金)	(△1,404)
資産の部合計	2,516,194

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

第74期損益計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

科 目	金額 (百万円)
経常収益	23,932
資金運用収益	18,227
貸出金利息	10,692
預け金利息	1,170
有価証券利息配当金	6,122
その他の受入利息	242
役務取引等収益	3,533
受入為替手数料	849
その他の役務収益	2,683
その他業務収益	560
外国為替売買益	23
国債等債券売却益	315
その他の業務収益	221
その他経常収益	1,611
償却債権取立益	157
株式等売却益	1,377
金銭の信託運用益	58
その他の経常収益	18
経常費用	18,750
資金調達費用	371
預金利息	352
給付補填備金繰入額	14
借入金利息	4
その他の支払利息	0
役務取引等費用	1,982
支払為替手数料	104
その他の役務費用	1,878
その他業務費用	1,044
国債等債券売却損	1,042
その他の業務費用	2
経費	14,608
人件費	9,532
物件費	4,573
税金	502
その他経常費用	743
貸倒引当金繰入額	85
貸出金償却	104
株式等売却損	333
株式等償却	6
金銭の信託運用損	48
その他の経常費用	164
経常利益	5,182
特別損失	23
固定資産処分損	23
税引前当期純利益	5,158
法人税、住民税及び事業税	1,425
法人税等調整額	△2
法人税等合計	1,423
当期純利益	3,735
繰越金 (当期首残高)	305
当期末処分剰余金	4,041

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

サステナビリティ
へきしんの

へきしんの経営状況

へきしんの概要

開かれた総代会を目指して

▶ 1 総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人一人の意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。

信用金庫の会員は、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では会員数がたいへん多く総会の開催が事実上不可能なため、会員の総意を適正に反映しつつ充実した審議を確保することを目的として、総会に代えて総代会を開催する制度を採用しています。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任などの重要事項を決議する最高意思決定機関です。総代会は、総会と同様に、会員一人一人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

さらに、当金庫では、総代会に限定することなく、会員向けアンケートを実施するなど、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

▶ 2 総代の任期、定数及び選任方法

(1) 総代の任期、定数

総代の任期は3年です。

2009年4月以降新たに就任した総代の定年は満75歳です。ただし、任期の途中で定年に達したときは、その任期の終了をもって退任となります。

総代の定数は90人以上120人以内で、会員数に応じて選任区域ごとに定められています。

(2) 総代の選任方法

総代は、次の3つの手続きを経て選任されます。

- ① 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ② 総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③ 総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

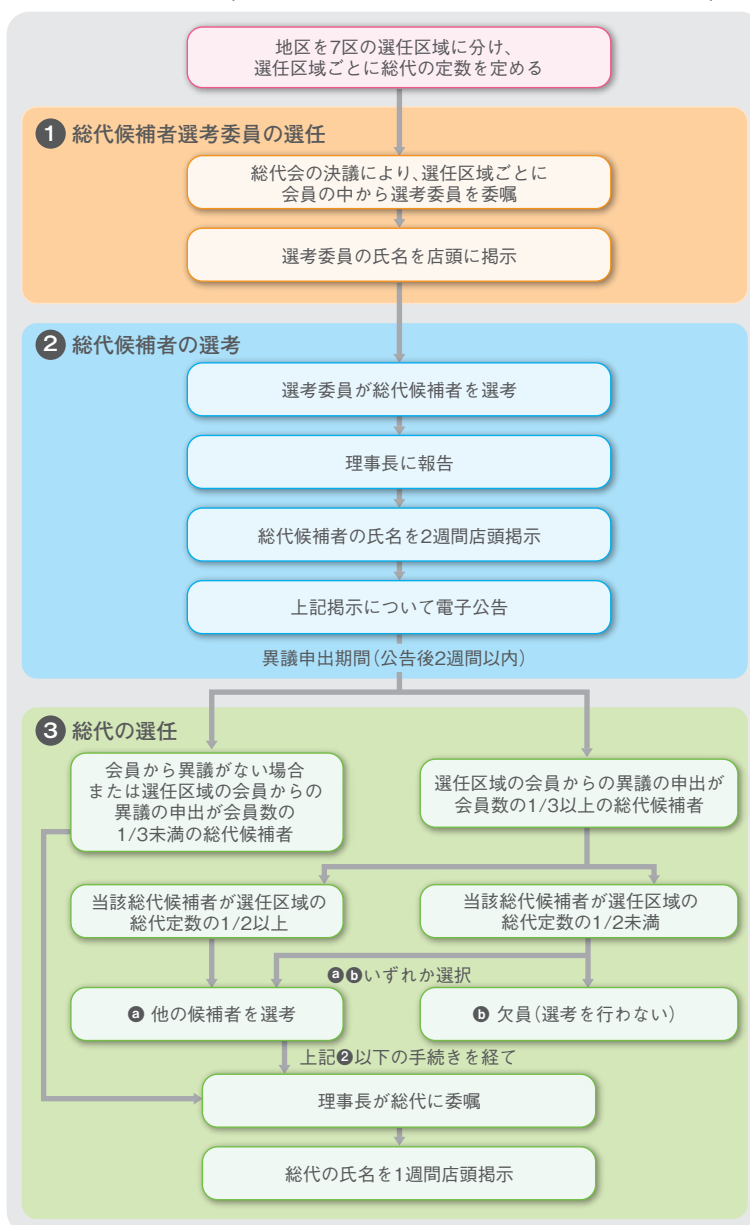
▶ 3 総代候補者選考基準

(1) 総代候補者は、当金庫の会員でなければならない。

(2) 総代候補者の選考基準は次のとおりとする。

- 総代としてふさわしい見識を有している者
- 良識をもって正しい判断ができる者
- 人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している者
- その他総代候補者選考委員が適格と認めた者

● 総代の選任方法（総代が選任されるまでの手続きについて）



▶ 4 第74期通常総代会の開催

2024年6月19日、総代120名（うち議決権行使書27名）にご出席いただき、本店3階大会議室において第74期通常総代会を開催しました。

総代会では、次の事項が付議され、それぞれ原案の通り承認可決されました。

●報告事項

第74期業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

●決議事項

- 第1号議案 第74期剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 定款一部変更の件
- 第3号議案 所在不明会員の除名の件
- 第4号議案 理事13名選任の件
- 第5号議案 監事4名選任の件
- 第6号議案 退任理事及び退任監事に対し退職慰労金贈呈の件



▶ 5 総代の氏名等

（五十音順、敬称略、氏名の後の数字は総代への就任回数）

選 任 区 域		人 数	氏 名																			
第1区	安城市	19名	石原 勝成 ¹⁴	大嶽恭仁子 ³	大見 満宏 ⁴	加賀 雅人 ¹	片桐 弘 ⁷	加藤登志雄 ⁸	金子 豊久 ³	神谷 英吾 ²	神谷喜久雄 ⁶	沓名 俊裕 ⁵	鈴木 康文 ¹	富田 清治 ⁴	中島 守彦 ⁵	成瀬 介宣 ⁸	原 敏城 ²	久田 庸平 ³	兵藤 義房 ²	三浦 哲 ⁸	水野 誠 ⁵	
			池田 裕幸 ³	磯村 洋子 ⁴	犬塚 太門 ²	太田宗一郎 ⁸	岡田 真幸 ³	倉田 英行 ⁸	近藤 純子 ⁷	鈴木 文三郎 ⁴	鈴木 康則 ²	田中 純 ⁵	角岡 昭典 ⁶	永田 千春 ⁸	中村 智 ¹	羽賀威一郎 ¹	宮田 和典 ³	山本 裕嗣 ⁷				
第2区	刈谷市・知立市	16名	池田 晋治 ⁴	石川 春久 ¹¹	石橋 嘉彦 ⁶	神谷 孝一 ⁸	神谷 環光 ¹	神谷 義昌 ⁶	亀山 裕一 ⁷	畔柳 博樹 ¹	榊原 利夫 ⁸	杉浦 豊紀 ⁵	杉浦 弘 ³	鈴木 雅基 ⁴	鈴木 泰博 ¹	名倉 隆司 ¹						
			浅岡 直人 ³	伊藤 公正 ¹¹	伊奈 良浩 ³	宇野 功晃 ³	太田 健介 ⁴	小野 正富 ⁷	片岡 啓二 ²	加藤 博巳 ⁴	神谷 光典 ²	近藤 盛仁 ¹	酒井 英二 ⁴	杉浦 彰 ⁴	鈴木 信高 ⁴	中村 哲久 ⁶	野田 篤文 ⁴	牧 久 ²	松本 文久 ²	宮本 大介 ²	安田 朗子 ¹	山崎 満 ¹⁰
第3区	碧南市・高浜市 西尾市	14名	荒川 吉泰 ³	江原 功一 ⁸	岡田 哲士 ³	小幡 銀伸 ¹³	河上 貴夫 ³	木下 富夫 ³	甲村 武保 ¹⁴	小島 裕二 ¹	澤田 智行 ³	鈴木 諭治 ¹	高木 健 ⁴	野田 清衛 ¹¹	野場 基 ⁸	渡邊 直人 ³						
			天野 一人 ⁷	伊丹 勝司 ⁴	大河 哲男 ¹	久納 英治 ⁶	熊谷勝一郎 ¹	桑島雄一郎 ¹	近藤 匠 ¹	酒井 重康 ⁹	坂本 精志 ⁷	嶋田 雅之 ¹	杉浦 壽治 ¹	田口 和宏 ¹	坪内 孝暁 ³	富田 英之 ³	永川 裕士 ³	中島 吉之 ¹	中村 出 ⁴	野々村昌彦 ³	丸山 創平 ²	毛受 進 ²
第4区	岡崎市・額田郡 蒲郡市・豊川市 豊橋市	21名	相木 徹 ³	今津 昭 ⁸	岩部 雅人 ⁴	神谷 紘正 ⁴	近藤 晃尚 ⁵	榊原 正章 ²	下谷 敏博 ⁴	首藤 亮太 ²	富田 毅 ¹	永田 英二 ⁵	深谷 啓治 ⁷	深谷 光俊 ⁸	水野 貴之 ³	森實 建介 ³	山田 祐治 ²					
第5区	豊田市・日進市 みよし市	14名																				
第6区	名古屋市・豊明市 愛知郡・瀬戸市 尾張旭市・春日井市 長久手市・稲沢市 清須市・北名古屋市 あま市・西春日井郡 海部郡大治町	21名																				
第7区	大府市・東海市 半田市・知多市 常滑市・知多郡	15名																				

（2024年6月19日現在）

●総代の属性別構成比

職業別	法人役員 100%（顧問、相談役等を含む）
年代別	80代以上 9.2%、70代 18.3%、60代 29.2%、50代 33.3%、40代以下 10.0%
業種別	製造業 58.3%、建設業 14.2%、卸・小売業 15.8%、各種サービス業 5.8%、不動産業 2.5%、運輸業 2.5%、その他0.8%

（2024年6月19日現在）

業務内容 (2024年7月1日現在)

▶ 主要な事業の内容

預金業務	預金積金………当座預金、普通預金、無利息型普通預金、通知預金、定期預金、定期積金、外貨預金などを取り扱っています。
貸出業務	貸付………手形貸付、証書貸付および当座貸越を取り扱っています。 手形・電子記録債権の割引……銀行引受手形、商業手形、荷付為替手形および電子記録債権などの割引を取り扱っています。
商品有価証券売買業務	国債など公共債の売買業務を取り扱っています。
有価証券投資業務	預金の支払準備および資金運用のため、国債、地方債、社債、株式などに投資しています。
内国為替業務	送金為替、当座振込および代金取立などを取り扱っています。
外国為替業務	輸出、輸入および外国送金など外国為替に関する各種業務を取り扱っています。 また、海外ビジネスに関する各種支援も行っています。
社債受託業務	担保付社債信託法による社債の受託、公社債の募集受託に関する業務を取り扱っています。
附帯業務	代理業務………日本銀行歳入代理店および国債代理店業務／地方公共団体の公金取扱業務／日本政策金融公庫などの代理店業務／株式払込金の受入代理業務および株式配当金、公社債元利金の支払代理業務／住宅金融支援機構などの代理貸付業務 など 信用金庫および信金中央金庫の業務の代理または媒介／信託会社または信託業務を営む金融機関の業務の代理または媒介／保護預りおよび貸金庫業務／有価証券の貸付／債務の保証または手形の引受／両替／公共債の引受／国債等公共債および投資信託の窓口販売／M&A仲介業務／確定拠出年金運営管理業務・販売業務／保険商品の募集業務(保険業法に基づく保険募集)／金融商品仲介業／電子債権記録業／人材紹介業務／投資顧問契約または投資一任契約の締結の代理または媒介／その他の業務

▶ 商品・サービスのご案内

預金業務

地域の皆さまの生活設計や資産の形成、事業活動などのお役に立てるよう、各種預金商品を取り揃えています。

◆印は預金保険の対象となる預金 ●印は預金保険の全額保護対象となる預金 ※印は2024年4月1日から新規取り扱いを中止しております。

預 金 の 種 類		特 色
流動性預金	◆ 総合口座	貯める、支払う、受け取る、借りるを1冊の通帳にセット。
	◆ 普通預金	出し入れ自由です。家計簿代わりにご利用ください。
	◆● 無利息型普通預金	無利息で普通預金と同様にキャッシュカードもご利用できます。
	◆ 貯蓄預金※	出し入れ自由で、キャッシュカードもご利用できます。
	◆● 当座預金	商取引に安全で有利な、小切手、手形がご利用できます。
	◆ 通知預金	まとまったお金の短期運用に便利です。
	◆ 納税準備預金※	利息に税金がかからない納税のための預金です。
	◆ 後見支援預金	被後見人の財産を管理するための口座です。
定期預金	◆ 期日指定定期預金	利息は1年の複利計算。1年据置後、一部引き出しもできます。
	◆ スーパー定期	1,000円以上で運用する自由金利型定期預金です。
	◆ 大口定期預金	1,000万円以上の大口資金を運用する自由金利型定期預金です。
	◆ 定額複利預金※	6カ月据置後、自由に引き出しができます。一部引き出しもできます。
	◆ 変動金利定期預金※	当金庫の設定する金利が6カ月ごとに変動します。
定期積金	◆ スーパー積金	毎月一定額を積み立てていく月掛預金です。
財形預金	◆ 一般財形預金	勤労者が給与・ボーナスから天引きで積み立てる預金です。
	◆ 財形年金預金	豊かな老後を送るための目的預金です。
	◆ 財形住宅預金	住宅の取得を目的とした預金です。
外貨預金	◆ 外貨定期預金	外貨建ての定期預金です。自動継続の取り扱いも行っています。
	◆ 外貨普通預金	外貨建ての普通預金で、出し入れ自由です。

融資業務

地域の皆さまの住宅資金や教育資金、事業に必要な運転資金や設備資金など、さまざまな資金ニーズにお応えするため、各種ローン商品を取り揃えています。

※ご融資にあたっては、所定の審査が必要となります。

ローンの種類	特徴・お使用みち等
カードローン (wallet)	総合口座一体型。キャッシュカードでご利用できます。
カードローン (きゅっする)	インターネット又はコールセンターによる申込が可能です。
カードローン (へきしんセレクト)	当金庫で一定のお取引がある方向けのカードローンです。
シニアライフプラン	年金受給のシニア層専用ローンです。
フリーローン (リーブル)	使いみち自由の個人向けローンです。
フリーローン (きゅっする)	
フリープラン	
カーライフプラン	マイカー購入およびその関連資金にご利用ください。
教育ライフプラン	学校の入学、在学に際して、必要な資金をご融資します。
教育カードローン	学校の入学、在学に際して、必要な資金をカード1枚で必要な時にご利用できます。
サポートプラン	当金庫と職域サポート契約を締結した事業所の従業員さま専用のローンです。
ライフイベントプラン	ライフイベントに関する目的資金にご利用できます。
へきしんホームローン	マイホームの実現のお手伝いをします。
住まいのいちばんネクストV	
マイホームプラン・セレクト	
マイホームプラン	
リフォーム・サブ	SDGsへの取り組みを支えるエコに関連した設備の導入などにご利用ください。
地球にやさしいリフォームプラン	
アパートローン	アパート建築資金など資産の有効活用にご利用ください。
大型ローン	各種不動産などの資産形成にお役立てください。
セカンド ライフ	住宅資金にご利用可能なリバースモーゲージ型住宅ローンです。
リバースモーゲージ「人生設計図」	豊かな生活の支援のためのリバースモーゲージです。
ビジネスライン (事業性当座貸越)	カード1枚で必要なときにすぐご利用できます。
クイックライン (事業性当座貸越)	必要なときに繰り返しご利用できます。
ビジネスローン「バックアップ」	事業資金にご利用いただける法人向けビジネスローンです。

上記のほか、一般融資・制度融資・代理貸付もあります。

その他
業務
・
各種
サービス

地域の皆さまの利便性向上や多様化・高度化するニーズにお応えするため、各種サービス業務の充実に努めています。

サービスの種類	サービスの内容
自動受取りサービス	年金・給与・配当金・保険金などが自動的にご指定の預金口座に振り込まれます。
自動支払いサービス	公共料金・税金・保険料などをご指定の預金口座から自動的にお支払いします。
総合振込サービス	買掛金、給与などを指定された受取人の預金口座に振り込みします。
自動振込サービス	毎月決まった金額を指定された受取人の預金口座に自動的に振り込みします。
夜間金庫	営業時間終了後も、毎日の売上金などを安全にお預りします。
貸金庫	お客さまの大切な書類、貴重品などを安全に保管します。
キャッシュサービス	当金庫のキャッシュコーナーでは、預け入れ、引き出し、振り込み、通帳記入、残高照会などがご利用できます。また、引き出し、残高照会は、全国の信用金庫および提携金融機関・郵便局などのキャッシュコーナーでもご利用できます。
しんきんゼロネットサービス	当金庫のキャッシュカードで全国のしんきんATMを手数料無料でご利用できます。 (平日：8:45～18:00の入出金、土曜日：9:00～14:00の出金) ※一部利用できない信用金庫があります。
デビットカードサービス (J-Debit)	キャッシュカードで買物代金を支払いできます。一部加盟店では、現金のお引き出しができます。
ファーム&ホームバンキングサービス	テレホン(ファクシミリ)サービス、資金移動サービス、データ伝送サービスなどご利用できます。
インターネットバンキングサービス	パソコン、スマートフォンから預金取引照会、資金移動サービス、定期預入、税金・各種料金の払い込み、データ伝送サービスなどご利用できます。
こたら送金サービス	スマホアプリを利用して行う個人間の少額送金サービスです。
へきしん外為WEBサービス	インターネット上で外国送金や輸入信用状の開設・条件変更の申し込みができます。
へきしん投信インターネットサービス	パソコン、スマートフォンから投資信託のお取引ができます。
へきしんアプリ ～スマート管理ぶらす～	入出金明細の確認やインターネットバンキングログイン、地域クーポン、各種手続きがご利用できます。
へきしんビジネスポータル ～スマート管理Biz～	インターネット上で資金繰り管理や請求・支払管理、ファイル保存・共有がご利用できます。インボイス制度や改正電子帳簿保存法にも対応しています。
へきしんBigAdvance	インターネット上で中小企業の経営課題や成長をサポートする経営支援デジタルプラットフォームです。
口座振替受付サービス	当金庫のキャッシュカードやインターネットでクレジットカードや保険契約などの口座振替手続きができます。
相談業務サービス	法律相談、年金相談、相続相談、休日相談を実施しています。
キャッシュレス決済導入支援サービス	クレジットカード、電子マネー、QRコード決済を安価で手軽に導入できます。
財務支援サービス	お客さまの財務データを分析した帳票をお届けし、アドバイスをいたします。
株価算定サービス	お客さまの自社株の算定を行います。
電子記録債権(でんさい)サービス	(株)全銀電子債権ネットワークの電子記録債権(でんさい)の発生(振出)、譲渡、受取などのお取り扱いができます。
診療圏・介護圏分析サービス	診療圏および介護圏データを分析した帳票をご提供します。
人材紹介サービス	お客さまの求人ニーズをお聞きし、適切な人材を入社までサポートします。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

業務内容(2024年7月1日現在)

証券業務

地域の皆さまの資産形成のお役に立てるよう、各種商品をご用意しています。

業 務 の 種 類	取 扱 商 品
公共債の窓口販売	国債、地方債
投資信託の窓口販売	国内債券ファンド、海外債券ファンド、国内株式ファンド、海外株式ファンド、国内不動産ファンド、海外不動産ファンド、バランス型ファンドなど
金融商品仲介業	SMBC日興証券、SBI証券を委託金融商品取引業者として金融商品仲介業務を行っています。
投資一任サービス	ニッセイアセットマネジメント株式会社を投資一任業者とするファンドラップ「へきしんゴールナビ」を取り扱っています。

保険業務

各生命保険会社・損害保険会社が提供する保険商品を取り扱っています。

業 務 の 種 類	取 扱 商 品
損害保険の窓口販売	火災保険、傷害保険、8大疾病補償付債務返済支援保険、業務災害補償保険、介護保険、自転車保険
生命保険の窓口販売	個人年金保険、がん保険、終身保険、医療保険、定期保険、就労所得保障保険、学資保険、介護保険、認知症保険

確定拠出年金業務

老後資金の備えとして、さまざまなラインナップをご用意しています。

業 務 の 種 類	取 扱 商 品
確定拠出年金の販売	401K個人型年金プラン（東京海上日動火災保険株式会社）、ハッピーエイジング401Kプラン（損保ジャパンDC証券株式会社）、碧海信用金庫DC個人型プラン、企業型確定拠出年金

主な手数料

当金庫の手数料は、ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

ホームページはこちら
<https://www.hekishin.jp/useful/tesuryo/>



～障がいをお持ちのお客さまに配慮した取り組み～

当金庫では、「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」を提示していただくと、窓口での振込手数料をATMでキャッシュカードを利用した場合の振込手数料に引き下げいたします。

役職員等の状況・組織図

●役員一覧

(2024年7月1日現在)

会 長	山内 正幸	理 事 長	深谷 誠	専 務 理 事	小山 敦	常 務 理 事	中村 浩行
常 務 理 事 (事務センター所長)	小田井 克篤	常 務 理 事 (営業本部長)	長澤 洋一	常 務 理 事	坂 松喜	理 事 (融資部長)	池田 英雄
理 事 (監査部長)	林 敬治	理 事 (コンサルティング営業部長)	荒井 一郎	理 事 (人財戦略部長)	川村 裕朗	理 事 (非常勤)	浜田 実※1
理 事 (非常勤)	梶田 宜孝※1	監 事	山本 敏雄	監 事	石川 清巳	監 事 (非常勤)	喜岡 渉※2
監 事 (非常勤)	蜂須賀 太郎※2	※1 信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。 ※2 信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。					

へきしんの
サステナビリティ

へきしんの経営状況

へきしんの概要

専務執行役員	小山 敦	常務執行役員 (事務センター所長)	小田井 克篤	常務執行役員 (営業本部長)	長澤 洋一	常務執行役員	坂 松喜
理事執行役員 (融資部長)	池田 英雄	理事執行役員 (コンサルティング営業部長)	荒井 一郎	理事執行役員 (人財戦略部長)	川村 裕朗	執行役員 (営業戦略部長)	日置 鉄線
執行役員 (第1ブロック長 本店営業部長 兼務 南安城支店長)	榊原 直志	執行役員 (第2ブロック長 豊田支店長 兼務 豊田東支店長)	岩橋 哲也	執行役員 (第3ブロック長 岡崎支店長)	河辺 俊男	執行役員 (第4ブロック長 大府支店長)	武田 義明
執行役員 (第5ブロック長 御園支店長)	大山 隆司						

●会計監査人 かがやき監査法人 (2024年7月1日現在)

●常勤理事監事数の推移

	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
常勤理事監事	13人	13人	13人

●新卒採用の状況

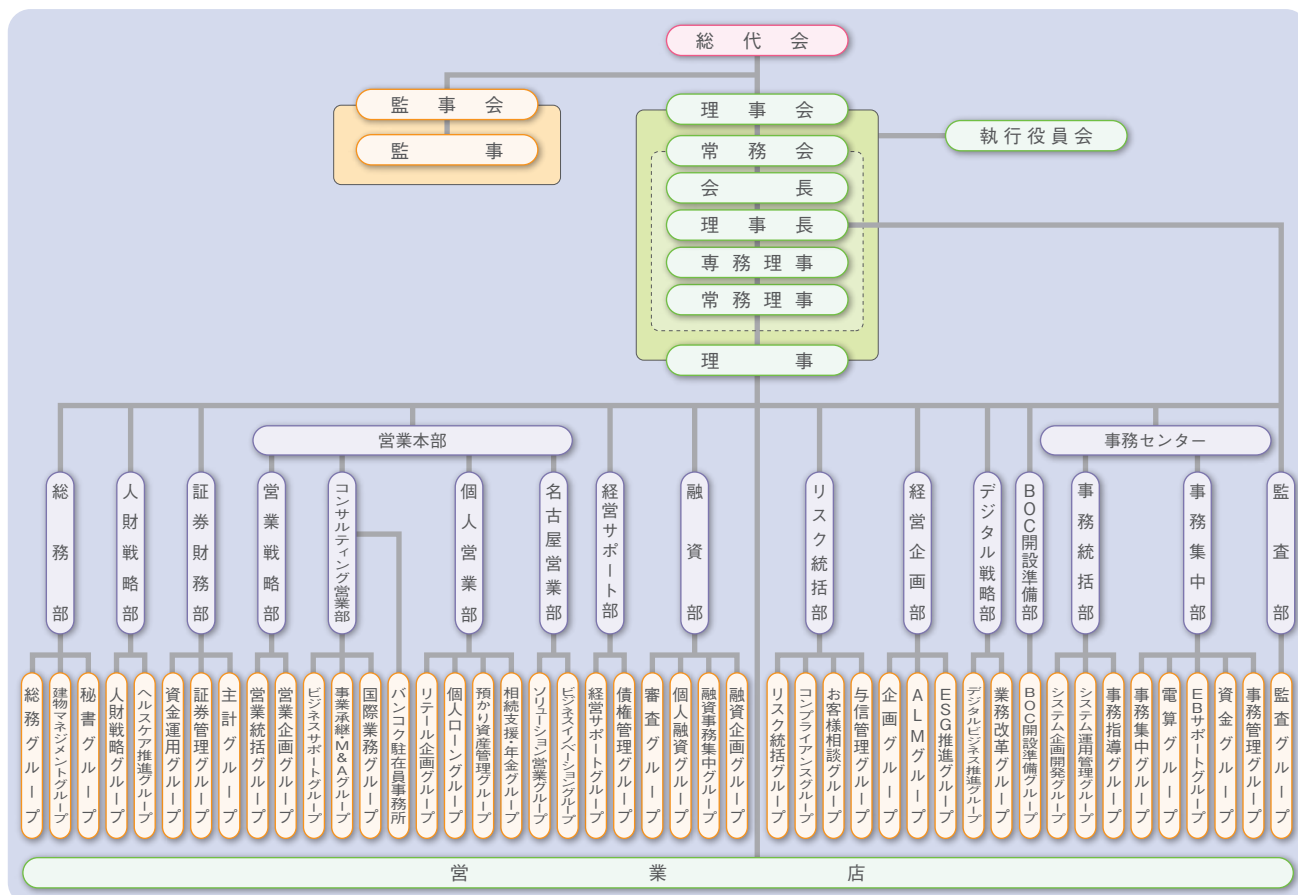
	2022年度	2023年度	2024年度
採用者数	40人	46人	54人

●職員の状況

	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
職員数(パート除く)	1,255人	1,221人	1,201人
平均年齢	41歳2カ月	41歳6カ月	42歳4カ月
平均勤続年数	17年0カ月	17年8カ月	17年3カ月

●組織図

(2024年7月1日現在)



店舗ネットワーク

● **店舗一覧 (78店舗)** ※全店 (安城市役所出張所、碧南市市金庫を除く) において、11:30～12:30の間、窓口の営業を休止しております。(2024年7月1日現在)

店名	店番	所在地	電話番号	店名	店番	所在地	電話番号
● 本部	—	安城市御幸本町15番1号	0566(77)8101	40 中島支店	007	中島町字葉師15番地1	0564(43)2573
● 事務センター	—	安城市今本町4丁目7番3号	0566(98)5666	41 岡崎北支店	020	大樹寺1丁目1番地6	0564(24)3311
安城市 11 店舗				42 矢作支店	023	東大友町字松花45番地	0564(32)1211
① 本店営業部	001	御幸本町15番1号	0566(77)8111	43 岡崎南支店	032	羽根東町3丁目2番地5	0564(53)8311
② 本店営業部 安城市役所出張所	—	桜町18番23号 (安城市役所内)	0566(71)1660	44 上和田支店	040	上和田町字サジ23番地1	0564(54)2381
③ 桜井支店	005	桜井町西町下32番地1	0566(99)0855	45 竜美丘支店	043	竜美台2丁目9番地2	0564(54)1211
④ 今村支店	013	東栄町2丁目503番地2	0566(97)8321	46 岡崎東支店	044	欠町字札木58番地	0564(25)3111
⑤ サルビア支店	025	大東町17番11号	0566(74)1211	47 福岡支店	049	福岡町字西後田68番地1	0564(52)5321
⑥ 東端支店	027	東端町鐘鎗場36番地6	0566(48)3331	48 稲熊支店	057	稲熊町字2丁目110番地1	0564(26)2822
⑦ 南安城支店	028	日の出町7番5号	0566(75)1181	49 岩津支店	061	西蔵前町1丁目6番地8	0564(45)3755
⑧ 城南支店	037	城南町1丁目4番地15	0566(76)4511	50 美合支店	063	蓑川新町2丁目1番地2	0564(52)3477
⑨ 新安城支店	045	今池町2丁目1番23号	0566(98)6161	額田郡 1 店舗			
⑩ 和泉支店	046	和泉町中北92番地5	0566(92)4800	51 幸田支店	035	幸田町大字菱池字大山25番地1	0564(62)7611
⑪ 三河安城支店	071	三河安城本町2丁目5番地11	0566(72)5151	豊田市 8 店舗			
知立市 3 店舗				52 豊田支店	012	喜多町5丁目55番地	0565(32)5001
12 知立支店	002	新地町東新地56番地	0566(81)1337	53 豊田西支店	022	小川町1丁目11番地2	0565(33)3133
13 南陽支店	041	南陽2丁目12番地	0566(82)2566	54 高岡支店	024	若林東町高根下88番地	0565(53)1211
14 知立南支店	073	南新地3丁目6番地20	0566(81)8511	55 豊田南支店	029	大林町11丁目2番地1	0565(27)3737
刈谷市 9 店舗				56 豊田東支店	051	上野町4丁目2番地8	0565(88)2277
15 刈谷支店	003	新栄町6丁目43番地	0566(21)3461	57 上郷支店	056	上郷町3丁目2番地1	0565(21)5757
16 東刈谷支店	021	板倉町1丁目7番地1	0566(23)5531	58 豊田寿町支店	067	寿町3丁目5番地1	0565(24)3611
17 富士松支店	026	今川町上池73番地1	0566(36)6161	59 豊田朝日支店	069	朝日町3丁目5番地2	0565(32)8171
18 刈谷北支店	034	高倉町1丁目207番地	0566(24)2711	みよし市 1 店舗			
19 小垣江支店	048	小垣江町中伊勢山26番地9 (刈谷南支店内)	0566(25)2788	60 みよし支店	017	三好町上259番地	0561(34)2551
20 東境支店	054	東境町昭山60番地3	0566(36)1147	名古屋市 9 店舗			
21 ツ木支店	055	築地町1丁目2番地2	0566(25)1115	61 御園支店	077	中区栄1丁目11番15号	052(228)9010
22 刈谷南支店	060	小垣江町中伊勢山26番地9	0566(25)2788	62 有松支店	006	緑区有松3010番地	052(621)4131
23 刈谷幸町支店	068	幸町2丁目5番地8	0566(29)0311	63 鳴海支店	010	緑区鳴海町字向田243番地	052(621)3181
高浜市 3 店舗				64 名古屋南支店	011	南区桜本町15番地の2	052(821)7706
24 高浜支店	004	碧海町4丁目3番地21	0566(53)1324	65 天白支店	030	天白区池場3丁目1708番地	052(802)6311
25 吉浜支店	033	屋敷町1丁目8番地10	0566(52)5511	66 緑支店	052	緑区鳴海町字宿地43番地1	052(624)6688
26 高浜中央支店	053	沢渡町1丁目5番地19	0566(52)5231	67 鳴海東支店	072	緑区簗山3丁目308番地	052(877)2221
碧南市 3 店舗				68 名古屋支店	075	昭和区広見町4丁目43番	052(859)1015
27 碧南支店	008	本郷町1丁目33番地	0566(42)1231	69 ナゴヤドーム前支店	076	東区古出来2丁目9番15号	052(711)0070
28 碧南中央支店	042	幸町6丁目1番地3	0566(48)3171	豊明市 3 店舗			
29 北新川支店	062	西山町5丁目45番地	0566(41)8900	70 豊明支店	014	前後町善江1657番地10	0562(97)6121
西尾市 3 店舗				71 豊明北支店	038	新田町吉池1番地の1	0562(93)1511
30 西尾支店	019	寄住町下田19番地	0563(56)5551	72 豊明南支店	065	新栄町3丁目409番地1	0562(97)7211
31 西尾北支店	036	緑町5丁目73番地	0563(54)5251	半田市 2 店舗			
32 西尾西支店	059	新在家町村北21番地	0563(57)8371	73 半田支店	064	昭和町2丁目12番地1	0569(24)6655
大府市 3 店舗				74 乙川支店	058	飯森町18番地2	0569(23)6565
33 大府支店	015	共栄町9丁目4番地8	0562(47)2335	知多市 1 店舗			
34 大府中央支店	047	中央町6丁目37番地	0562(46)8211	75 知多支店	070	にしの台4丁目6番地16	0562(56)3701
35 大府西支店	074	半月町2丁目115番地	0562(44)7500	愛知県 1 店舗			
東海市 3 店舗				76 東郷支店	018	東郷町和合ヶ丘1丁目5番地4	0561(38)1011
36 東海支店	016	富木島町外面7番地3	052(604)3811	知多郡 1 店舗			
37 加木屋支店	050	加木屋町1丁目298番地	0562(34)1012	77 東浦支店	039	東浦町大字緒川字家下9番地の5	0562(83)1223
38 東海北支店	066	名和町山東11番地1	052(604)3201	インターネット支店			
岡崎市 12 店舗				78 スマイルネット支店	078	安城市御幸本町15番1号	0120(539)525
39 岡崎支店	009	康生通南1丁目1番地	0564(21)9211	バンコク駐在員事務所			

16th Floor, 1606, Athenee Tower, 63Wireless Road, Lumpini,
Pathumwan, Bangkok 10330, Thailand

TEL : +66-(0)2-168-8231

店舗ネットワーク

へきしんの店舗内ATMコーナーは、全店、平日・土曜・日曜・祝日、午前8時から午後9時まで稼働しております。



へきしんの
サステナビリティ

へきしんの経営状況

へきしんの概要

●ローンプラザ・パーソナルプラザのご案内

(2024年7月1日現在)

	お問い合わせ・ご予約	営業日・営業時間	定休日	住所
ローンプラザ安城	☎ 0120-501-635	月火木金土日の 9時～11時30分、 12時30分～17時	水曜・祝日(土日を除く)・ 振替休日・年末年始等	安城市大東町17番11号 (サルビア支店2階)
ローンプラザ豊明	☎ 0120-512-516			豊明市前後町善江1657番地10 (豊明支店2階)
ローンプラザ岡崎竜美	☎ 0120-333-775			岡崎市竜美台2丁目9番地2 (竜美丘支店1階)
ローンプラザ知立	☎ 0120-101-231			知立市南新地3丁目6番地20 (知立南支店1階)
御園支店 パーソナルプラザ	☎ 0120-501-625	平日の10時～11時30分、 12時30分～18時 土曜の9時～11時30分、 12時30分～17時	日曜・祝日(土曜を除く)・ 振替休日・年末年始等	名古屋市中区栄1丁目11番15号 (御園支店3階)

店舗ネットワーク

●店舗外ATMコーナー一覧 (54カ所)

(2024年7月1日現在)

安城市 (12カ所)	知立市 (4カ所)	西尾市 (2カ所)	豊田市 (3カ所)
★ 安城市役所	★ 知立市役所	● おしろタウンシャオ	★● グリーンシティ (イオン高橋店)
● ドミー安城横山店	● ドミースーパーセンター知立店	● ヴェルサウォーク西尾	● トヨタ生協本店
● アンディ (住吉町)	★● リリオ (中町)	岡崎市 (12カ所)	● トヨタ生協若園店
八千代病院	● ギャラリーエアピタ知立店	● SWING MALL	みよし市 (1カ所)
★● フィールでっかいどう	刈谷市 (7カ所)	● ドミー百々店	● アイ・モール三好
● イトーヨーカドー安城店	★ 刈谷市役所	● ドミー若松店	名古屋市 (2カ所)
● ファミリーマート高木町店	● ピアゴ井ヶ谷店	● MEGAドン・キホーテUNY矢作店	● ピアゴ清水山店
● ピアゴ福釜店	● ピアゴ東刈谷店	● ピアゴ上和田店	● イオンモール大高
● DCM安城赤松店	● イオンタウン刈谷	● ピアゴ洞店	大府市 (1カ所)
安城更生病院	● アピタ刈谷店	● イオンモール岡崎	★● アピタ大府店
● アピタ安城南店	● スギ薬局富士松店	● フィール岡崎大和店	豊明市 (1カ所)
● パロー安城日の出店	● 刈谷半城土	★● アピタ岡崎北店	豊明市役所
★ 共同ATM幹事コーナー ★ 共同ATM非幹事コーナー ● 日曜・祝日ATM稼働コーナー	高浜市 (1カ所)	★● ショッピングセンターコムタウン	東海市 (1カ所)
※共同ATM非幹事コーナーでは、ATM 利用手数料・振込手数料が一部異なるほか、カード暗証番号の変更、支払限度額変更等のお取り扱いができません。	● Tぽーと (神明町)	● スーパーやまのぶ矢作店	● ラスパ太田川
	碧南市 (3カ所)	● ドミー岩津店	信用金庫共同ATMコーナー
	● 碧南市役所	額田郡 (1カ所)	★● JRセントラルタワーズ
	★● ピアゴ碧南東店	★● ドミー幸田店	★● JRセントラルタワーズスカイサトル
	★● ドン・キホーテUNY碧南店		★● 中部国際空港セントレア

店舗外ATMは、設置場所により稼働時間が異なります。
詳しくは当金庫のホームページをご覧ください。



●営業地区一覧

(2024年7月1日現在)

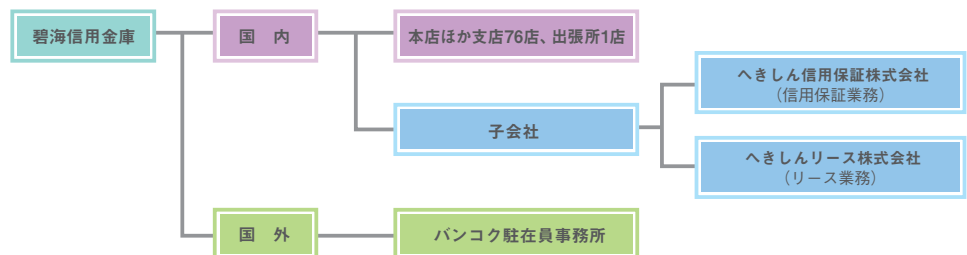
西三河	安城市、刈谷市、碧南市、岡崎市、豊田市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、額田郡
東三河	蒲郡市、豊川市、豊橋市
名古屋市	全域
尾張	大府市、東海市、半田市、知多市、豊明市、常滑市、瀬戸市、日進市、尾張旭市、春日井市、長久手市、稲沢市、清須市、北名古屋市、あま市、愛知郡、知多郡、西春日井郡、海部郡大治町

●へきしんグループの主要な事業の概要

(2024年7月1日現在)

組織の構成

当金庫グループは、当金庫、子会社2社で構成され、信用金庫業務を中心に信用保証業務、リース業務などの金融サービスを提供しています。



碧海信用金庫の沿革

昭和

25年	10月25日	中小企業等協同組合法に基づく「碧海信用組合」の事業免許を受け創業
27年	1月19日	信用金庫法に基づく信用金庫に改組し、「碧海信用金庫」として新発足、初代理事長 杉本庄平
33年	3月12日	2代目理事長に石原勝一就任
38年	4月22日	新本店を竣工
	7月31日	預金量100億円を達成
41年	6月29日	日本銀行と当座取引を開始
	12月22日	日本銀行蔵入代理店の指定を受ける
44年	11月18日	ホストコンピュータ導入し稼働開始
48年	1月29日	当座・普通・納税準備預金の全店オンラインスタート
	10月定期・通知・定積の全店オンラインスタート	
	11月30日	預金量1,000億円を達成
49年	3月27日	両替商業業務の取扱開始
50年	8月27日	本店にCD(現金自動支払機)1号機を設置
51年	2月1日	会長に石原勝一就任、3代目理事長に杉坂一路就任
	12月27日	日本銀行と貸出取引開始
53年	5月8日	知上市役所内に店舗外CD(現金自動支払機)1号機を設置
	11月30日	事務センターを竣工
55年	4月21日	本店にATM(現金自動受払機)1号機設置
	12月20日	全店舗にATMを設置完了
58年	4月1日	国債の窓口販売の取扱開始
59年	2月1日	外国為替業務の取扱開始
62年	6月1日	ディーリング業務の取扱開始
	11月30日	預金量5,000億円を達成、店舗数は50店舗
63年	5月28日	会長に杉坂一路就任、4代目理事長に海田久義就任

平成

3年	11月5日	自由金利型定期預金「スーパー定期」の取扱開始
4年	5月19日	会長に海田久義就任、5代目理事長に大村平八郎就任
	6月22日	スーパー積金および貯蓄預金の取扱開始
	7月23日	ATMによるカード入金の取扱開始
5年	6月18日	私募債受託業務(副受託)の取扱認可
	10月13日	新本店竣工、10月25日新本店オープン
	11月15日	ATM振込の取扱開始
6年	3月31日	預金量1兆円を達成
	6月1日	信託代理業務の取扱開始
7年	8月1日	「へきしん年金友の会」を発足
	12月18日	私募債受託業務(代表受託)の取扱開始
9年	5月20日	会長に大村平八郎就任、6代目理事長に横田俊二就任
	11月24日	ATM祝日稼働の開始
	11月25日	へきしんホームページの開設
12年	6月20日	会長に横田俊二就任、7代目理事長に石川正義就任
	10月28日	創立50周年記念式典の開催
13年	4月2日	投資信託の窓口販売業務の開始
	4月2日	損害保険の窓口販売業務の開始
14年	2月21日	確定拠出年金業務の取扱開始

17年	1月4日	会長に石川正義就任、8代目理事長に田村脩就任
	10月3日	証券仲介業務の開始
	11月4日	株式会社日本格付研究所(JCR)より長期優先債務格付「A+」を取得
18年	11月16日	第1回上半期経営報告会の開催
19年	7月1日	安城市の単独指定金融機関として選定される
	9月4日	本店営業部安城市役所出張所の開設
20年	6月18日	会長に田村脩就任、9代目理事長に増田昌史就任
	6月30日	預金量1兆5,000億円を達成
21年	1月4日	東海地区信金共同事務センターが運営する「新総合オンラインシステム」へ移行
22年	1月12日	新シンボルマークの導入
	10月1日	文書管理センターを竣工
	11月3日	創立60周年記念式典の開催
24年	4月1日	10代目理事長に福田雅美就任
25年	10月1日	「ATM休日・時間外手数料無料サービス」の開始
26年	7月2日	バンコク駐在員事務所の開設
27年	12月29日	貸出金残高1兆円を達成
28年	4月1日	会長に福田雅美就任、11代目理事長に石川澄夫就任
29年	5月31日	預金量2兆円を達成
	7月18日	御園支店をグランドオープン
	10月2日	「へきしんアプリ ～スマート管理ぶらす～」の取扱開始
31年	4月1日	経営支援クラウドサービス「へきしん Big Advance」の取扱開始

令和

元年	5月20日	インターネット支店の「スマイルネット支店」を開設
	6月17日	12代目理事長に山内正幸就任
	9月20日	「へきしんSDGs行動宣言」を表明
2年	6月1日	「有料職業紹介事業」の許可取得および人材紹介業務の開始
	10月25日	創立70周年記念日
3年	10月18日	安城市と連携して「あんじょうSDGs共創パートナー」制度を設立
4年	4月25日	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言への賛同
	9月5日	投資一任サービス「へきしんゴールナビ」の提供開始
	11月21日	「へきしんビジネスポータル～スマート管理 Biz～」の提供開始
	11月25日	刈谷市、知上市、東邦ガス株式会社と地域新電力会社「刈谷知立みらい電力株式会社」を共同設立
5年	6月12日	「プラチナくるみんプラス認定」取得(県内企業初)
	8月1日	「DX認定事業者」の認定取得
	12月20日	「アプリ積金」の取扱開始
6年	6月19日	会長に山内正幸就任、13代目理事長に深谷誠就任

フリーダイヤルのご案内

※通話料無料ですのでお気軽にご相談ください。

●音声自動案内フリーダイヤル

代表番号 ☎ **0120-552-773**

ご相談窓口番号	お問い合わせ内容	お問い合わせ時間
1	キャッシュカード・通帳等の盗難、紛失などの手続き ATM・インターネットバンキングによる不正振込被害等に遭われた場合 (営業時間内は取引店で受付いたします)	24時間受付しております
2	ATMコーナー・キャッシュカードに関するお問い合わせ	平 日 9時～17時
3	住宅ローン・消費者ローンのご相談	
4	公共債・投資信託等証券取引ならびに保険・確定拠出年金に関するお問い合わせ	
5	外貨預金・外国送金・海外ビジネスに関するお問い合わせ	

※1を除き12月31日～1月3日は休日となります。

●直通フリーダイヤル

お問い合わせ内容	お問い合わせ番号	お問い合わせ時間
お客様相談 (ご要望・苦情等)	☎ 0120-834-587	平 日 9時～17時
電子記録債権サービス (でんさい) に関するお問い合わせ	☎ 0120-166-080	平 日 8時45分～19時
インターネットバンキングに関するお問い合わせ	☎ 0120-539-539	
へきしんアプリ ～スマート管理ぶらす～ に関するお問い合わせ	☎ 0120-227-811	
スマイルネット支店に関するお問い合わせ	☎ 0120-539-525	
投信インターネットサービスに関するお問い合わせ	☎ 0120-968-310	平 日 9時～17時
採用・募集に関するお問い合わせ	☎ 0120-775-922	
振り込め詐欺救済法のご照会・ご相談	☎ 0120-611-540	
当金庫とのお取引目的確認に関するお問い合わせ	☎ 0120-770-272	
貸付条件の変更等および「経営者保証に関するガイドライン」に関する苦情・ご相談	☎ 0120-365-522	
企業経営 (事業承継・M&A・ビジネスマッチング等) に関するご相談	☎ 0120-115-004	
相続対策・年金に関するご相談	☎ 0120-404-181	

※12月31日～1月3日は休日となります。

別冊のご案内

財務状況等のより詳細な情報については、別冊を作成しています。別冊は、当金庫ホームページに掲載しています。

<https://www.hekishin.jp/about/disclosure/nenkan.php>



愛知県安城市御幸本町15番1号
<https://www.hekishin.jp>